



# 2025年12月期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社

証券コード6914

2026年2月13日

## <免責事項>

本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

# 【ご参考】当社の事業セグメント概要

## IA（インダストリアルオートメーション）事業

### 自動化装置関連

自動車向けの二次電池製造装置を提供



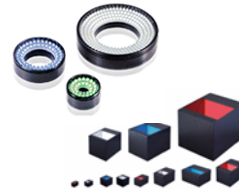
### 産業用PC関連

半導体製造装置向けの組込ボードや  
空港向けの追尾用カメラを提供



### 検査用照明関連

工場の検査工程で検査の品質向上に  
役立つ照明を提供



### FA関連

工場の生産工程で自動化・省人化に  
役立つセンサーを提供



## SS（センシングソリューション）事業

### 防犯関連

住宅、事業所、大型重要施設向けの  
防犯センサーを提供



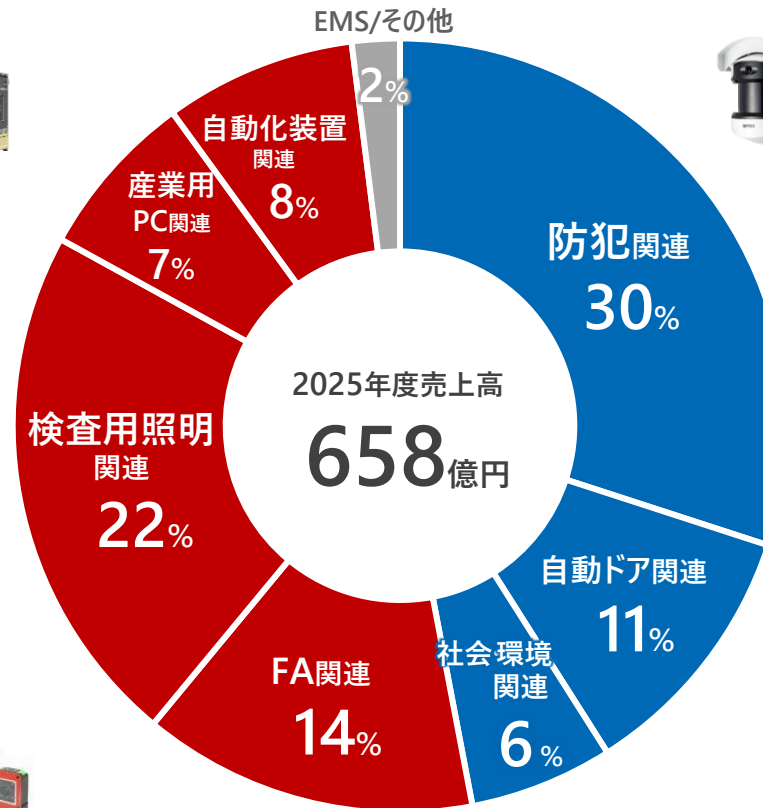
### 自動ドア関連

自動ドア用センサー、工場や倉庫の  
シャッター用センサーを提供



### 社会・環境関連

駐車場向けの車両検知センサーや  
上水・下水向けの水質計測センサーを提供



1. 2025年12月期 決算概要
2. 2026年12月期 業績予想
3. 3カ年（FY26-28）の経営計画

# 2025年12月期 決算のポイント

SS事業：Sensing Solution（センシングソリューション）事業

IA事業：Industrial Automation（インダストリアルオートメーション）事業

## 売上高 前年度比+4.1%

SS事業：防犯関連 大型重要施設向け、社会・環境関連 駐車場向けの売上が好調に推移。

IA事業：FA関連、検査用照明関連の売上が堅調に推移。  
自動化装置関連（二次電池製造装置向け）の受注案件が伸び悩み。

## 営業利益 前年度比+14.5%

売上総利益率が大幅改善。

- ・高収益製品（SS事業：防犯関連の大型重要施設向け等）の販売増加により、製品ミックスが改善

# 2025年12月期 連結決算 総括

単位：百万円 （ ）：対売上比	FY24 実績	FY25 実績	増減率
売上高	63,269	65,878	+4.1%
売上総利益	31,867 (50.4%)	34,291 (52.1%)	+7.6%
販売費及び一般管理費	24,746 (39.1%)	26,137 (39.7%)	+5.6%
営業利益	7,121 (11.3%)	8,153 (12.4%)	+14.5%
経常利益	7,749 (12.2%)	8,000 (12.1%)	+3.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,689 (9.0%)	6,595 (10.0%)	+15.9%
1株当たり当期純利益 単位：円	159.86	185.16	

## ■為替レート

	FY24 (実績)	FY25 (実績)
1USD	151.58円	149.71円
1EUR	163.95円	169.00円
1GBP	193.70円	197.25円

# 2025年12月期 連結決算 セグメント別 売上高・営業利益

<div>単位：百万円</div> <div>( )：対売上比</div>	売上高			営業利益 (営業利益率)		
	FY24 実績	FY25 実績	増減率	FY24 実績	FY25 実績	増減率
SS事業 (センシングソリューション)	28,374	31,044	+9.4%	3,915 (13.8%)	4,888 (15.7%)	+24.9%
IA事業 (インダストリアルオートメーション)	33,748	33,734	-0.0%	3,764 (11.2%)	3,827 (11.3%)	+1.7%
EMS事業	1,042	996	-4.4%	-120	-32	—

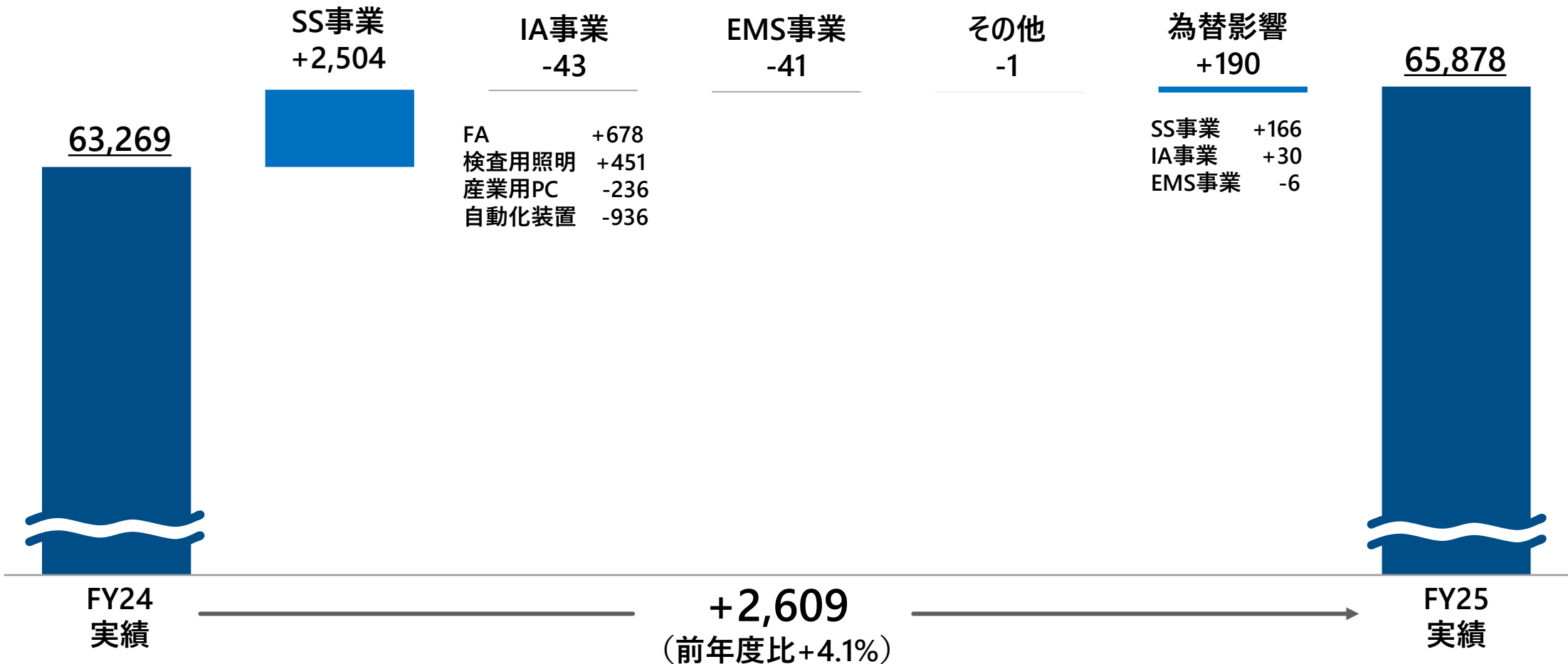
※セグメント別の売上高は、セグメント間取引の売上高を消去した数値を表示しています。  
 ※セグメント別の営業利益は、セグメント間取引の営業利益を含む数値を表示しています。

# 2025年12月期 連結売上高 増減要因（前年度比）

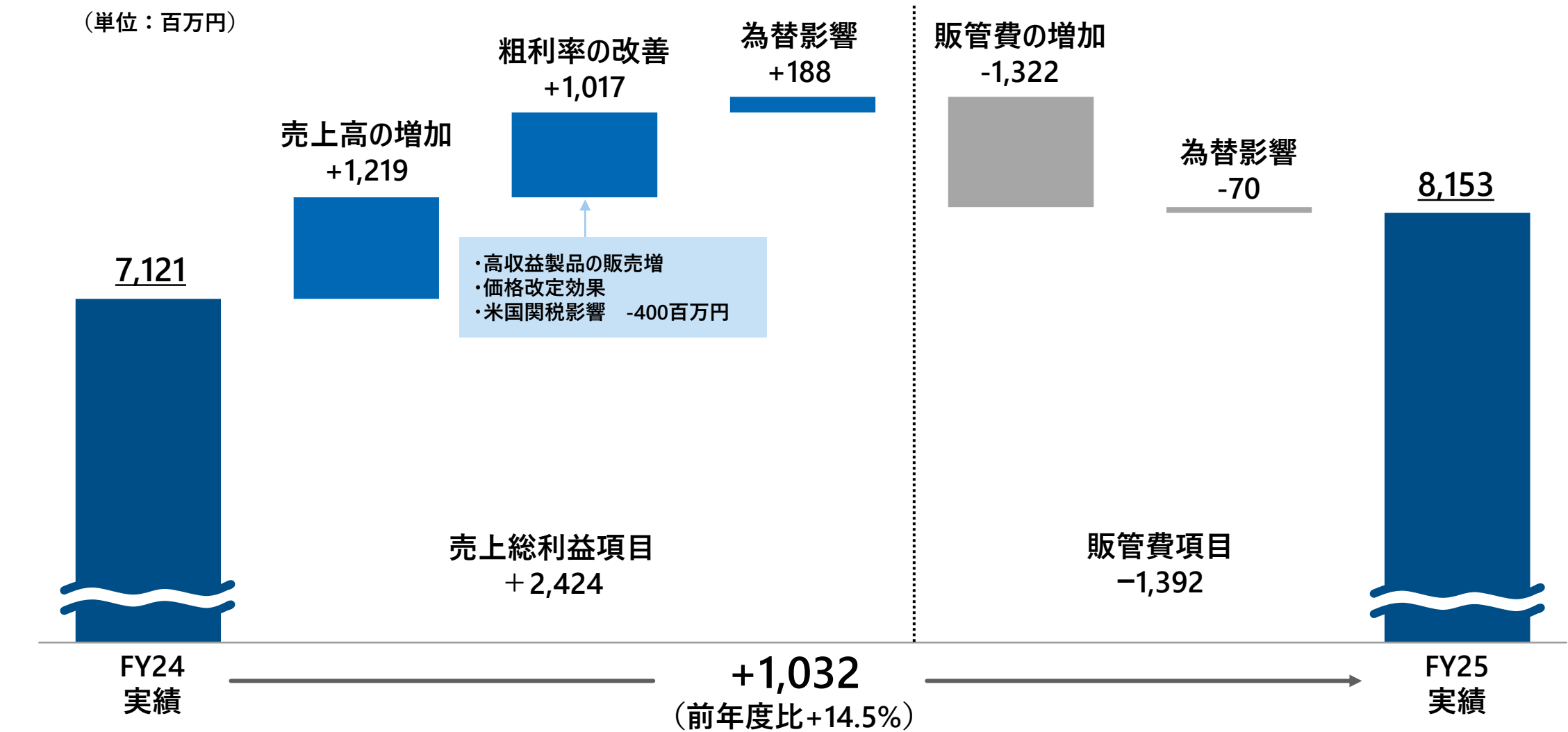
SS事業：Sensing Solution（センシングソリューション）事業

IA事業：Industrial Automation（インダストリアルオートメーション）事業

（単位：百万円）

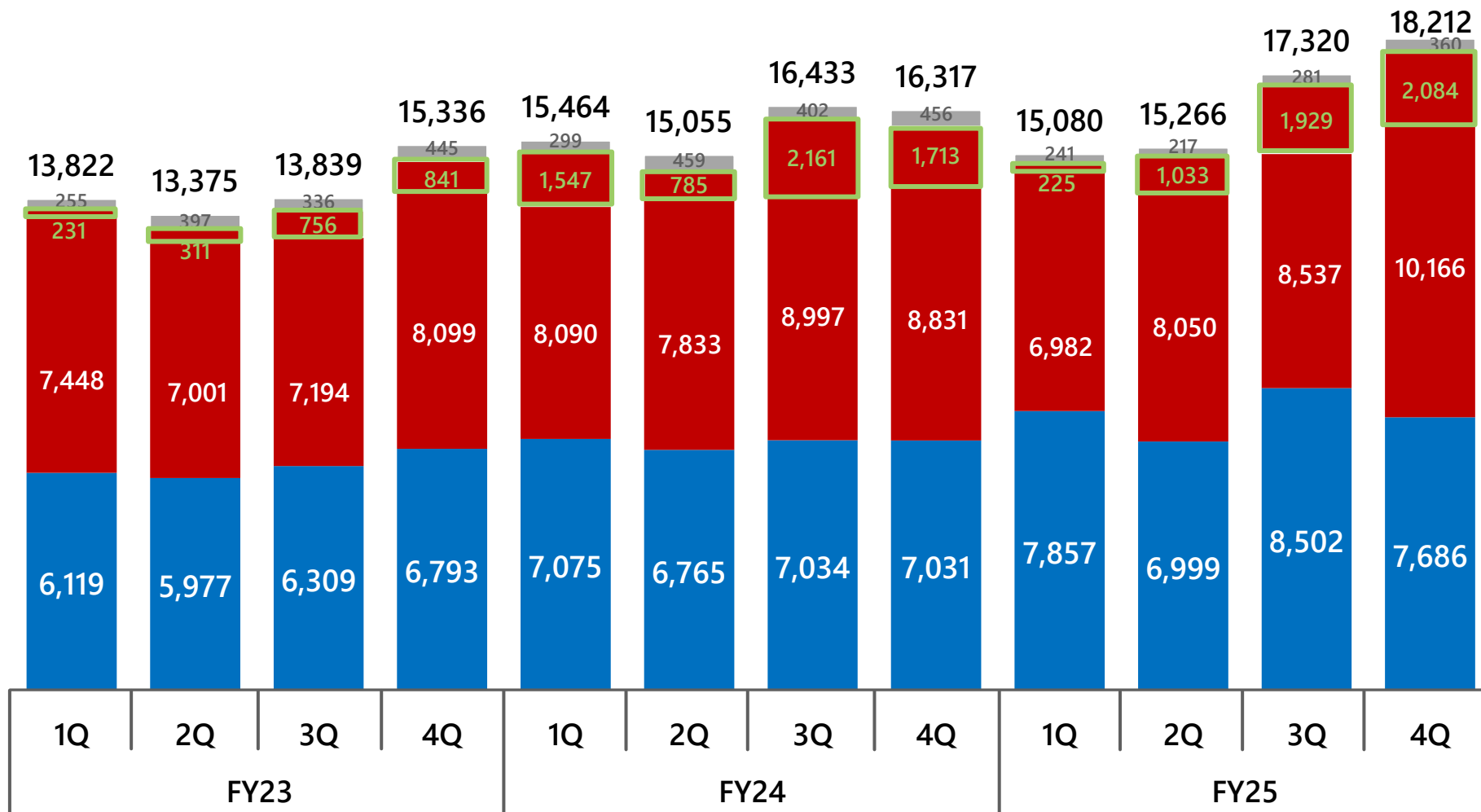


# 2025年12月期 連結営業利益 増減要因（前年度比）





# 連結売上高 四半期推移 (FY23-25)



## 4Q (10~12月) の売上業績

SS事業：3Q防犯関連・電力施設向け大型案件の反動減影響を除き、堅調。

IA事業：3Qに続き4Qも自動化装置の大型案件を同規模で推進、他サブセグメントも堅調。

- EMS/その他事業
- IA事業 / 自動化装置関連
- IA (インダストリアルオートメーション) 事業
- SS (センシングソリューション) 事業

(単位：百万円)

# SS事業 – 防犯関連



地域	FY25 業績のポイント
日本	・インフラ関連施設の需要を獲得し、ソリューション販売が堅調
米州	・データセンター向けにレーザースキャンセンサーの販売が好調
欧州	・データセンター、インフラ関連施設向けにレーザースキャンセンサー等の販売が好調 ・住宅向けの販売が軟調
アジア	・データセンター、インフラ施設などの大型重要施設向けの案件獲得が堅調



データセンターでの侵入検知例

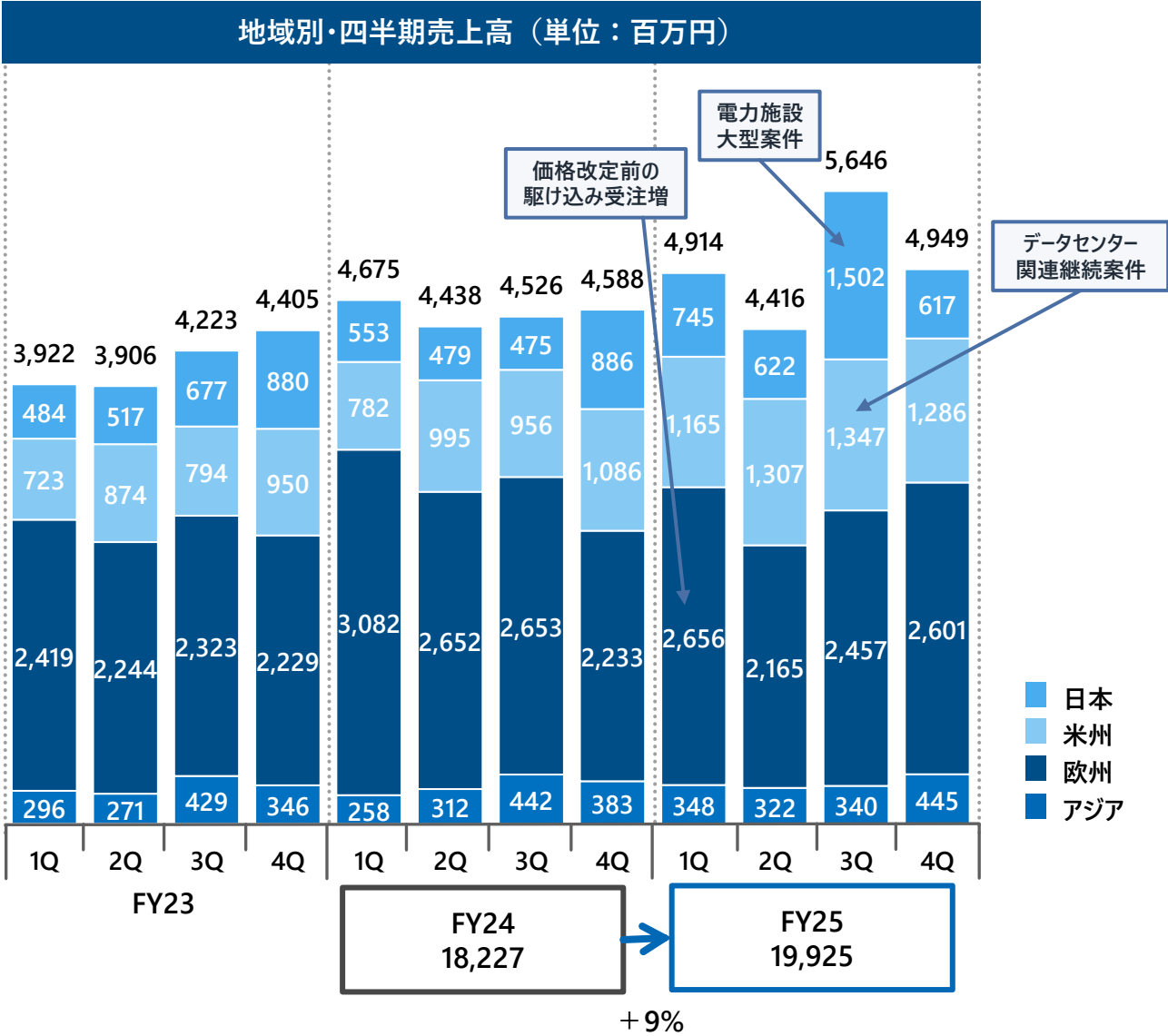


屋内用



屋外用

大型重要施設向け  
レーザースキャンセンサー



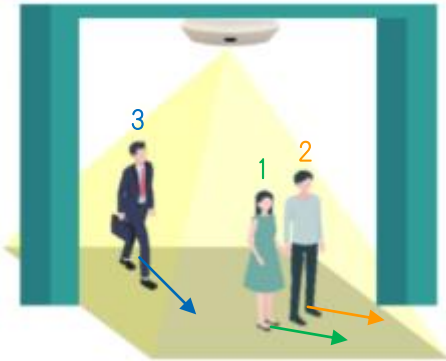
# SS事業 – 自動ドア関連



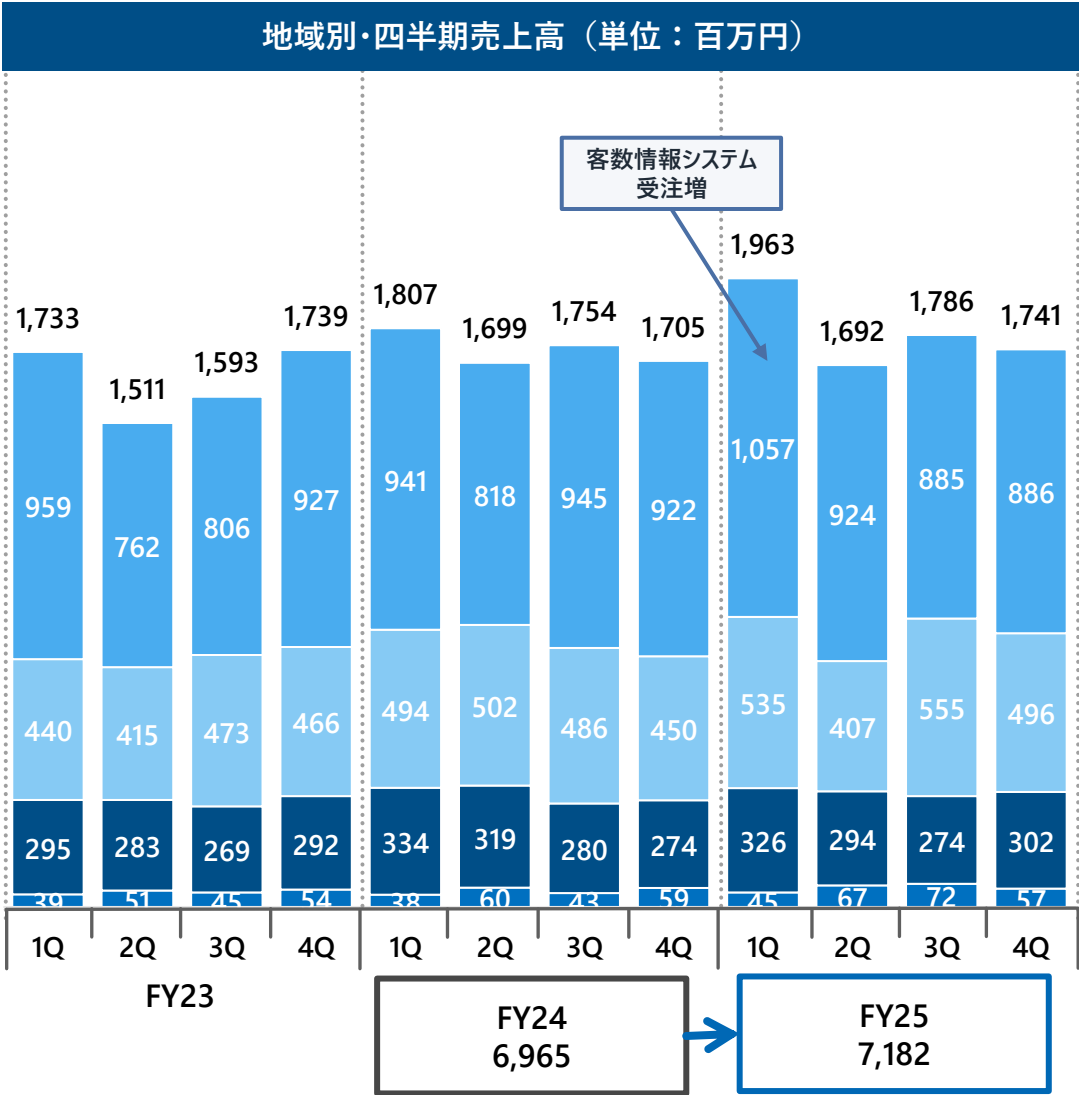
地域	FY25 業績のポイント
日本	・自動ドア用センサー・シャッター用センサーの販売が堅調
米州	・自動ドア用センサー・シャッター用センサーの販売が前年並みで推移
欧州	・自動ドアメーカー向けの販売が前年並みで推移



自動ドア用センサー

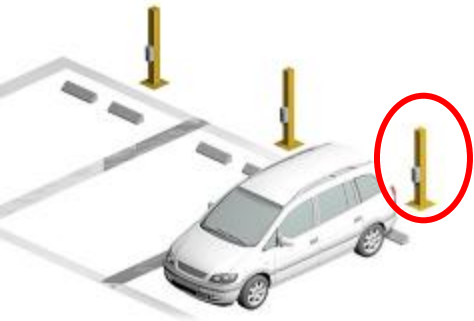


客数情報システム



# SS事業 – 社会・環境関連

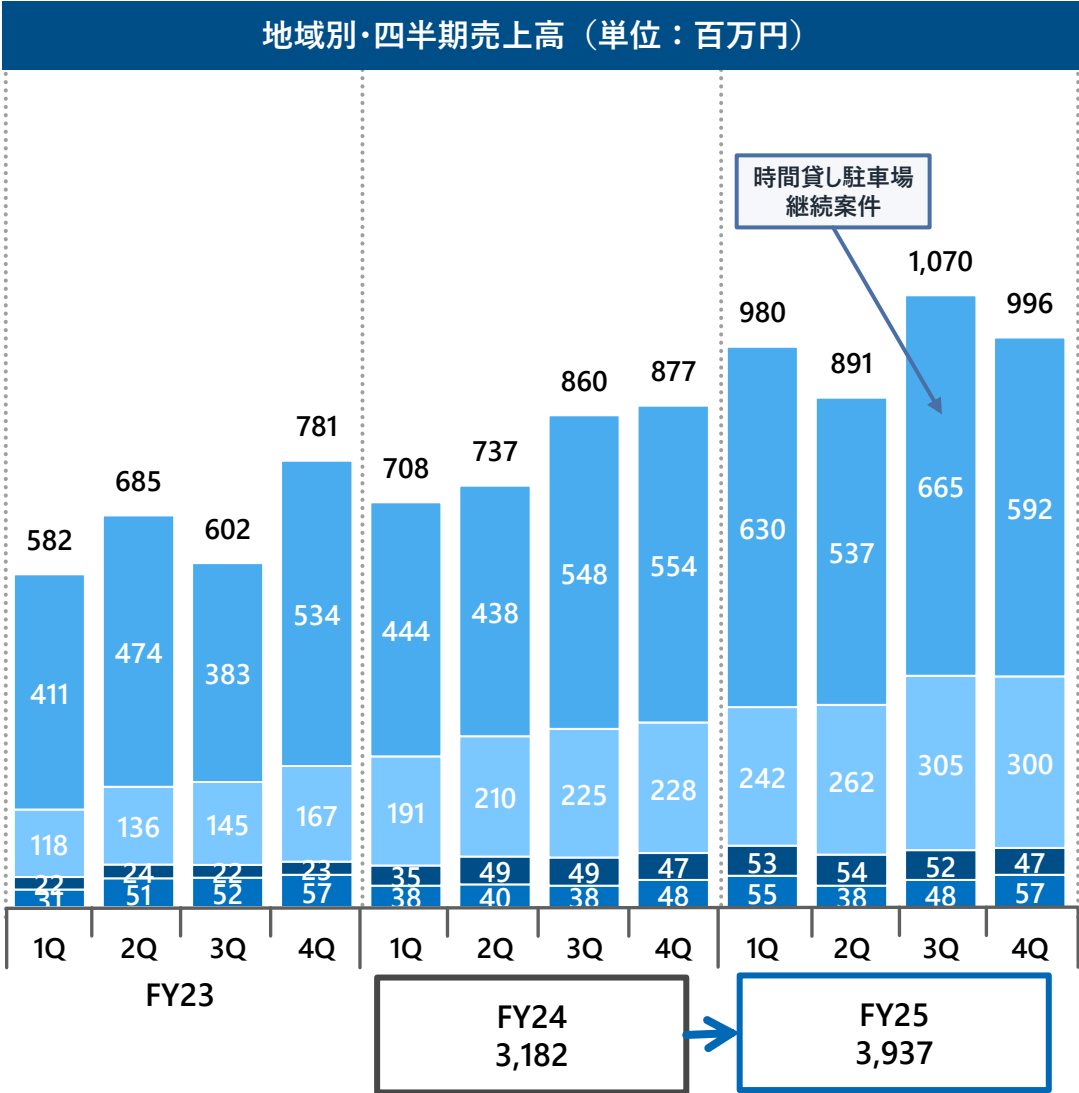
地域	FY25 業績のポイント
日本	<ul style="list-style-type: none"><li>・駐車場システム向け車両検知センサー、ソリューション販売が好調</li><li>・上水・下水向け等に水質センサー、データマネジメントサービスの販売が好調</li></ul>
米州	<ul style="list-style-type: none"><li>・駐車場のゲート開閉用途で車両検知センサーの販売が好調</li></ul>



車両検知センサー



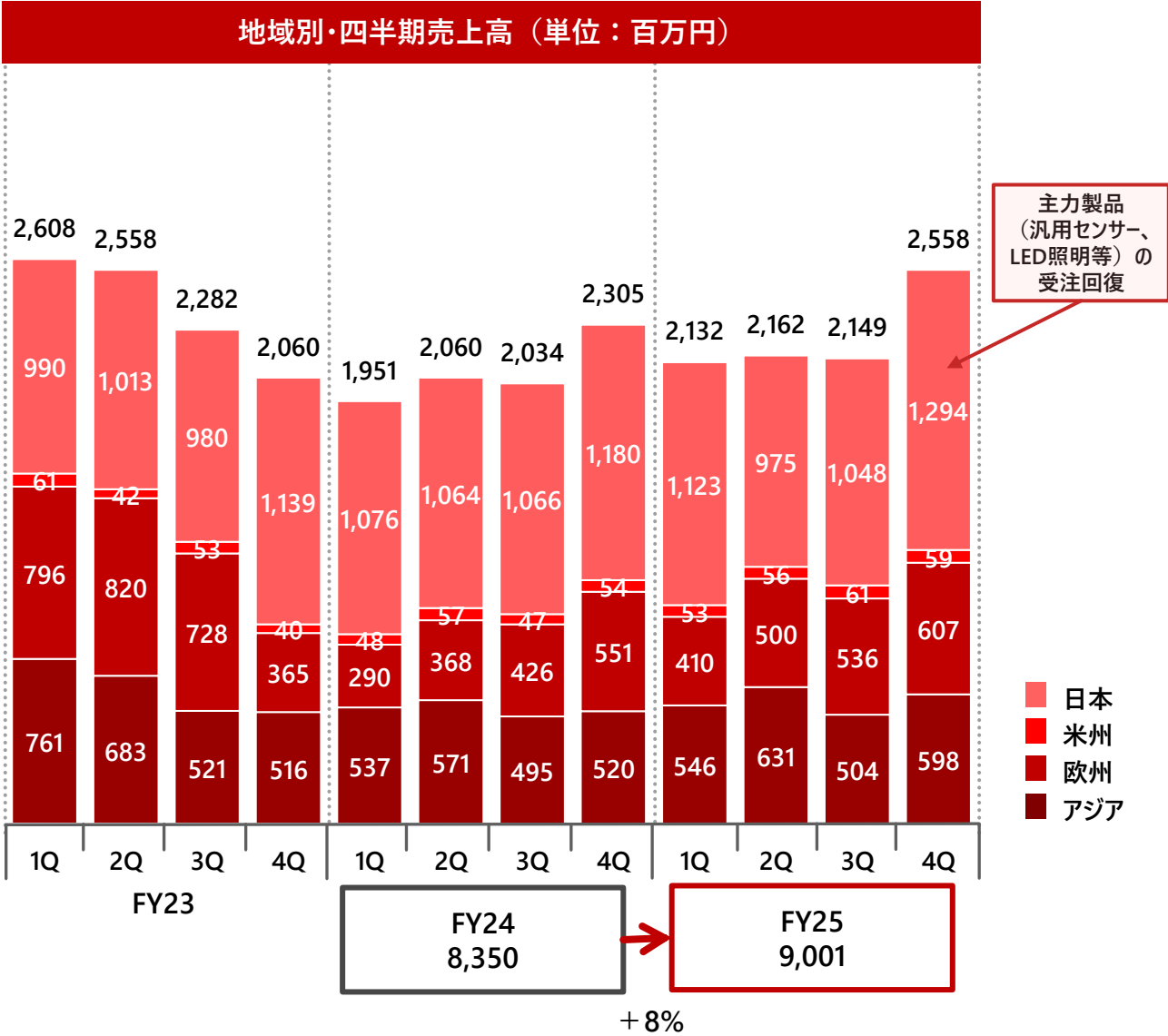
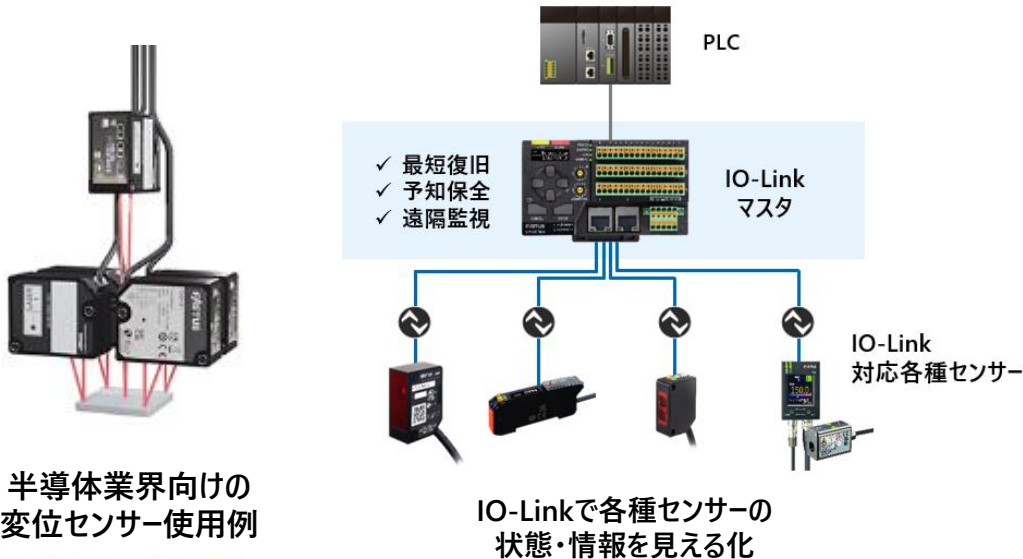
水質計測データマネジメントサービス



# IA事業 – FA関連

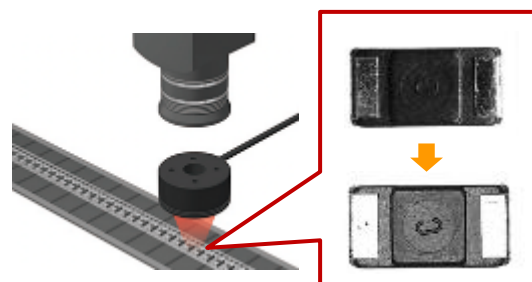


地域	FY25 業績のポイント
日本	・米国関税政策の影響により、半導体、電気・電子部品向けの販売が軟調に推移
欧州	・主要顧客（OEM先）では在庫調整が進展。最終顧客向け需要動向では、米国および中国向けは堅調な一方、欧州域内向けは軟調な状況が継続
アジア	・中国の設備投資需要は回復基調にあるものの、市場ごとの製品戦略の見直しと対応を継続

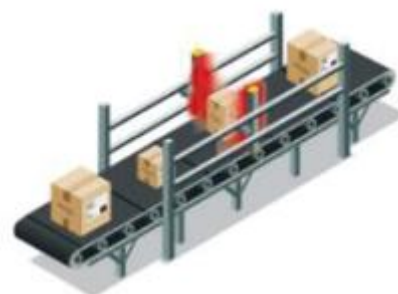


# IA事業 – 検査用照明関連（旧MVL関連）

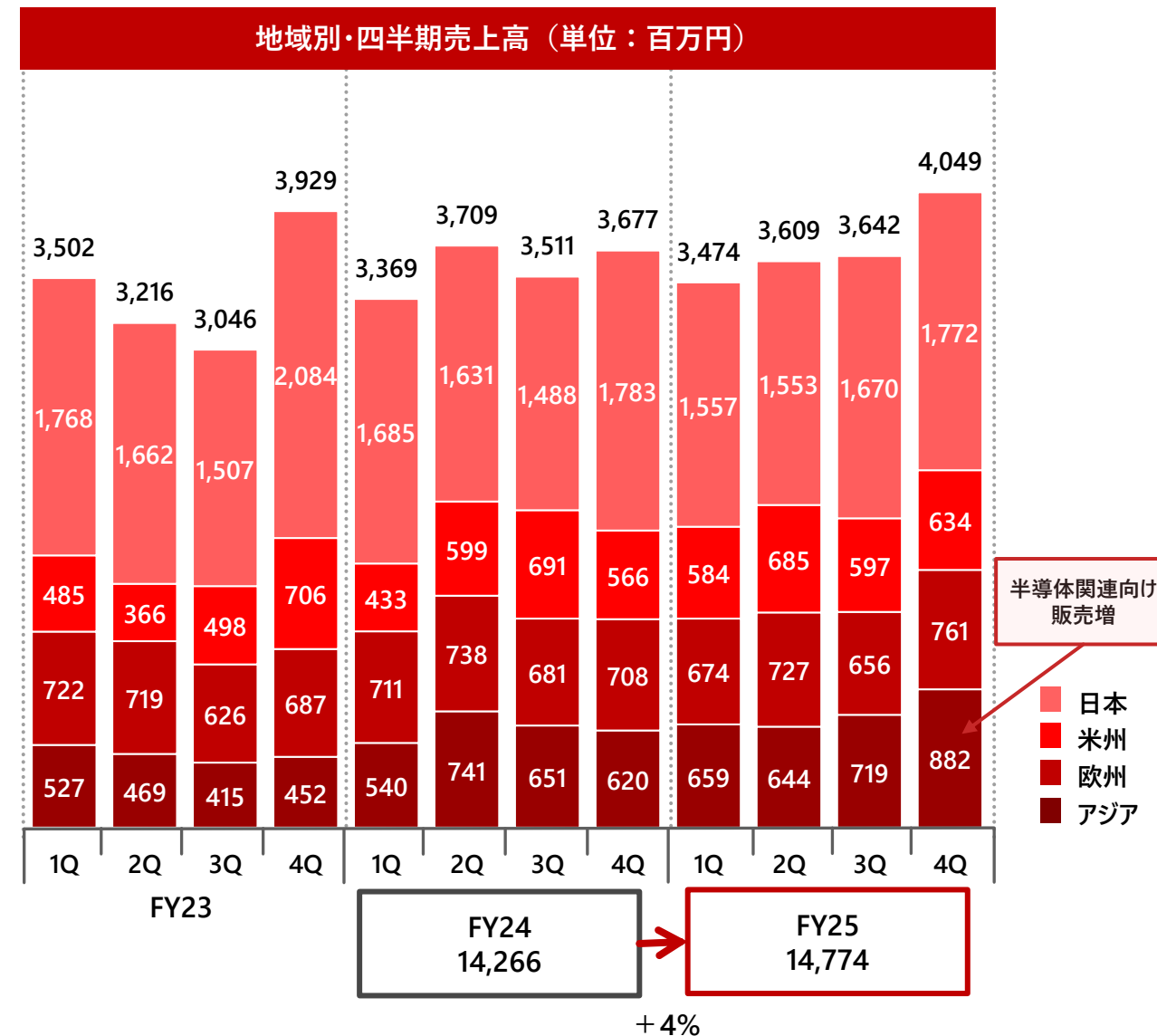
地域	FY25 業績のポイント
日本	・先端半導体分野は改善傾向にあり、堅調に推移。 電気・電子部品向けは軟調継続
米州	・物流業界向けを中心とした販売が堅調に推移
欧州	・物流業界向けにフランス子会社製品の販売が堅調に推移 ・欧州の体制再構築でシェア拡大を目指す
アジア	・東南アジアで半導体関連向けの販売が順調



電子部品の外観検査ソリューション



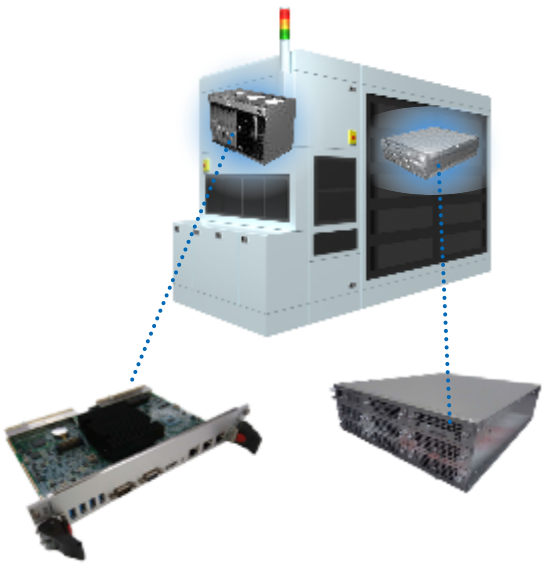
物流業界向け使用イメージ





# IA事業 – 産業用PC関連（旧IPC関連）

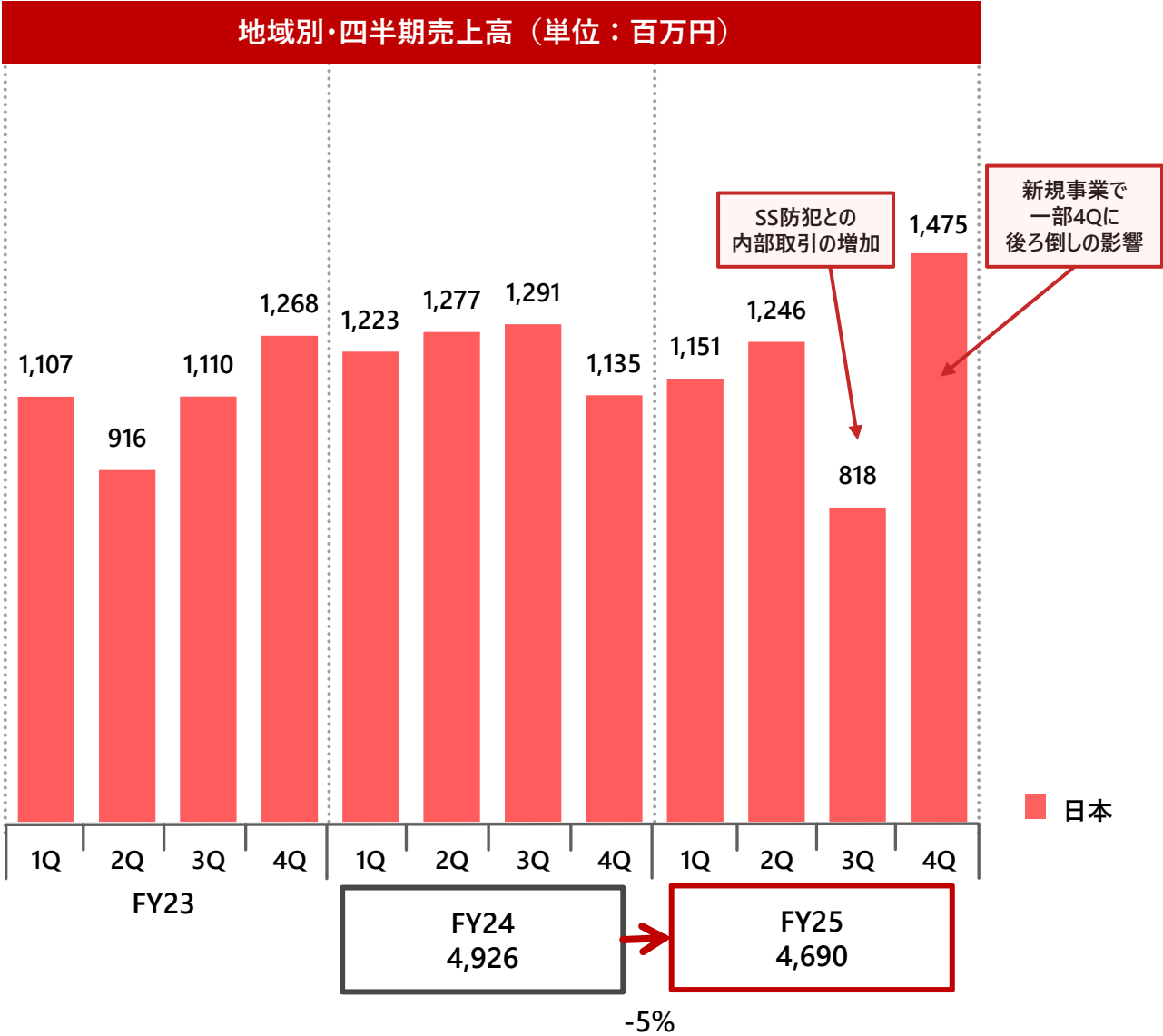
地域	FY25 業績のポイント
日本	<ul style="list-style-type: none"><li>・SS事業（防犯関連）とのシナジーにより大型重要施設向けに追尾用カメラの販売が好調に推移</li><li>・半導体製造装置向けの販売が低調に推移</li></ul>



半導体製造装置の産業用コンピュータ



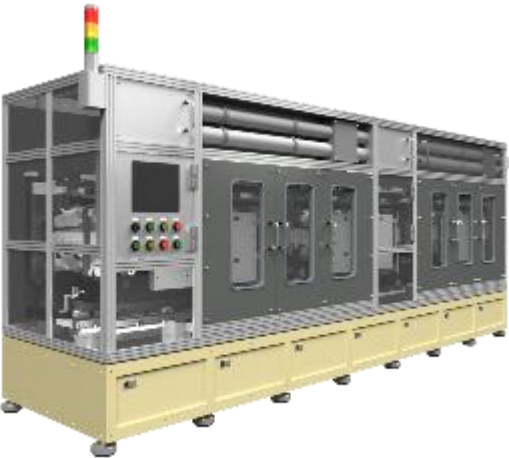
追尾用カメラ



# IA事業 – 自動化装置関連（旧MECT関連）



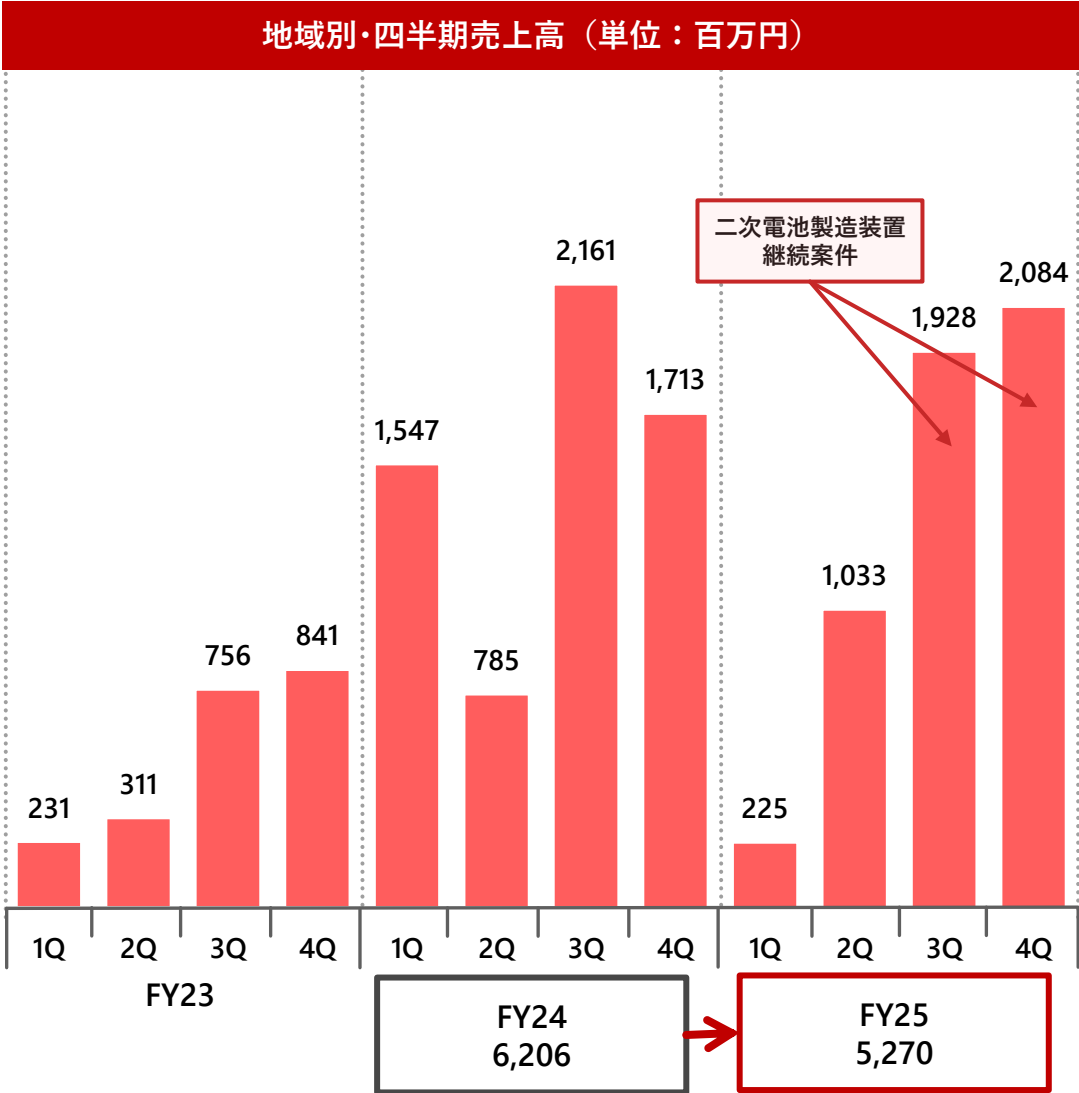
地域	FY25 業績のポイント
日本	・EV向け設備投資需要の一巡により、二次電池製造装置の受注案件が伸び悩み



電気自動車・ハイブリッド車向け  
二次電池製造装置



非接触 三次元形状測定機





1. 2025年12月期 決算概要
- 2. 2026年12月期 業績予想**
3. 3カ年（FY26-28）の経営計画

# 2026年12月期 事業環境認識

SS事業：Sensing Solution（センシングソリューション）事業

IA事業：Industrial Automation（インダストリアルオートメーション）事業

SS 事業	防犯	AI・データセンターやインフラ施設投資が増加し、防犯需要は拡大継続。グローバルで大型重要施設向けソリューション提案を強化し成長を加速。防衛分野は中長期で拡大期待。
	自動ドア	欧米市場を中心に安全対応・環境貢献製品の需要増加で堅調継続を見込む。 国内市場も遠隔管理ニーズに対応した製品・システム拡充により堅調継続を見込む。
	社会・環境	駐車場DXに伴うシステム革新が進み、車両検知ソリューションの拡大が継続。 ダイレクトマーケティング・ソリューション提案でターゲット市場の需要獲得し成長を見込む。
IA 事業	FA ファクトリーオートメーション	半導体・電子部品業界の設備投資の需要回復を確実に取り込む。変位センサー、IO-Link等のコア製品にリソースを集中し、選別強化と中国市場変化への戦略対応で通期拡大を実現。
	検査用照明 (旧MVL)	半導体・電子部品における微細化・高集積化が進行しており、引き合いが増加中。自動車業界はギガキャストや全固体電池など実験テーマが拡大。プライベート展示会をさらに拡充し、ソリューション発信力を強化。
	産業用PC (旧IPC)	FY25は半導体製造装置向けの在庫過剰による受注減少が継続。FY26は緩やかな回復基調の中、自動化需要に支えられ産業用PC市場が底堅く推移する見込み。
	自動化装置 (旧MECT)	EV向け二次電池製造装置が車載電池市場の供給過剰を背景に伸び悩み、慎重な市場環境が続く見込み。

# 2026年12月期 連結業績予想

米国の関税影響や、IA事業 自動化装置関連の受注減少を織り込んでいる。SS事業の安定的な成長に加え、自動化・省人化需要の増大や検査工程の複雑化を背景に、IA事業ではFAセンサーおよび検査用照明で高収益製品の販売強化を進める。

単位：百万円 （ ）：対売上比	FY25 実績	FY26 予想	増減率
売上高	65,878	69,000	+4.7%
売上総利益	34,291 (52.1%)	36,515 (52.9%)	+6.5%
販売費及び一般管理費	26,137 (39.7%)	27,715 (40.2%)	+6.0%
営業利益	8,153 (12.4%)	8,800 (12.8%)	+7.9%
経常利益	8,000 (12.1%)	8,800 (12.8%)	+10.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,595 (10.0%)	6,600 (9.6%)	+0.1%
1株当たり当期純利益 単位：円	185.16	185.30	

■為替レート

	FY25 実績	FY26 予想
1USD	149.71円	150.00円
1EUR	169.00円	175.00円
1GBP	197.25円	200.00円

■為替感応度（FY26 予想、1円変動による影響額）

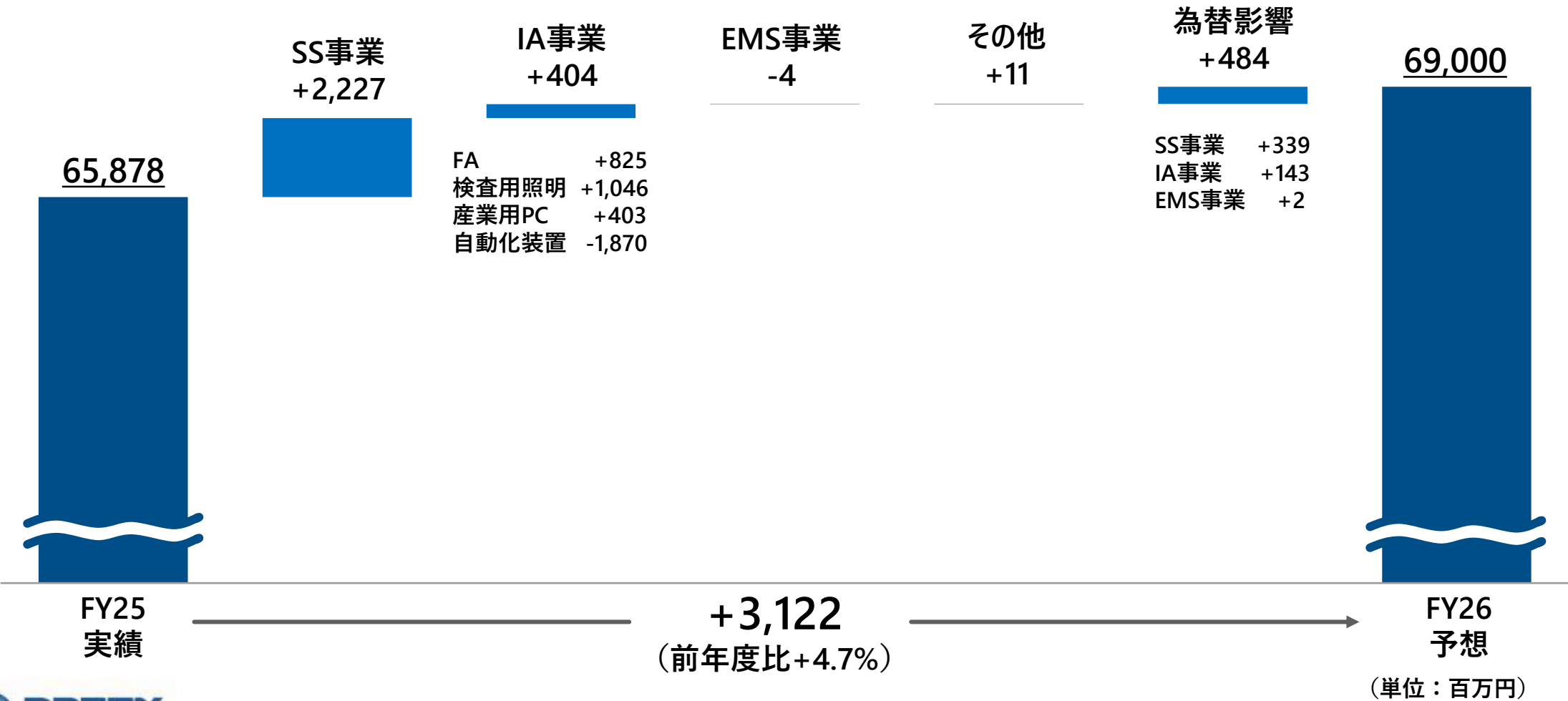
	売上高	営業利益
USD1円相当	約120百万円	約30百万円
EUR1円相当	約60百万円	約40百万円
GBP1円相当	約30百万円	約10百万円



# 2026年12月期 連結業績予想 売上高 増減要因（前年度比）

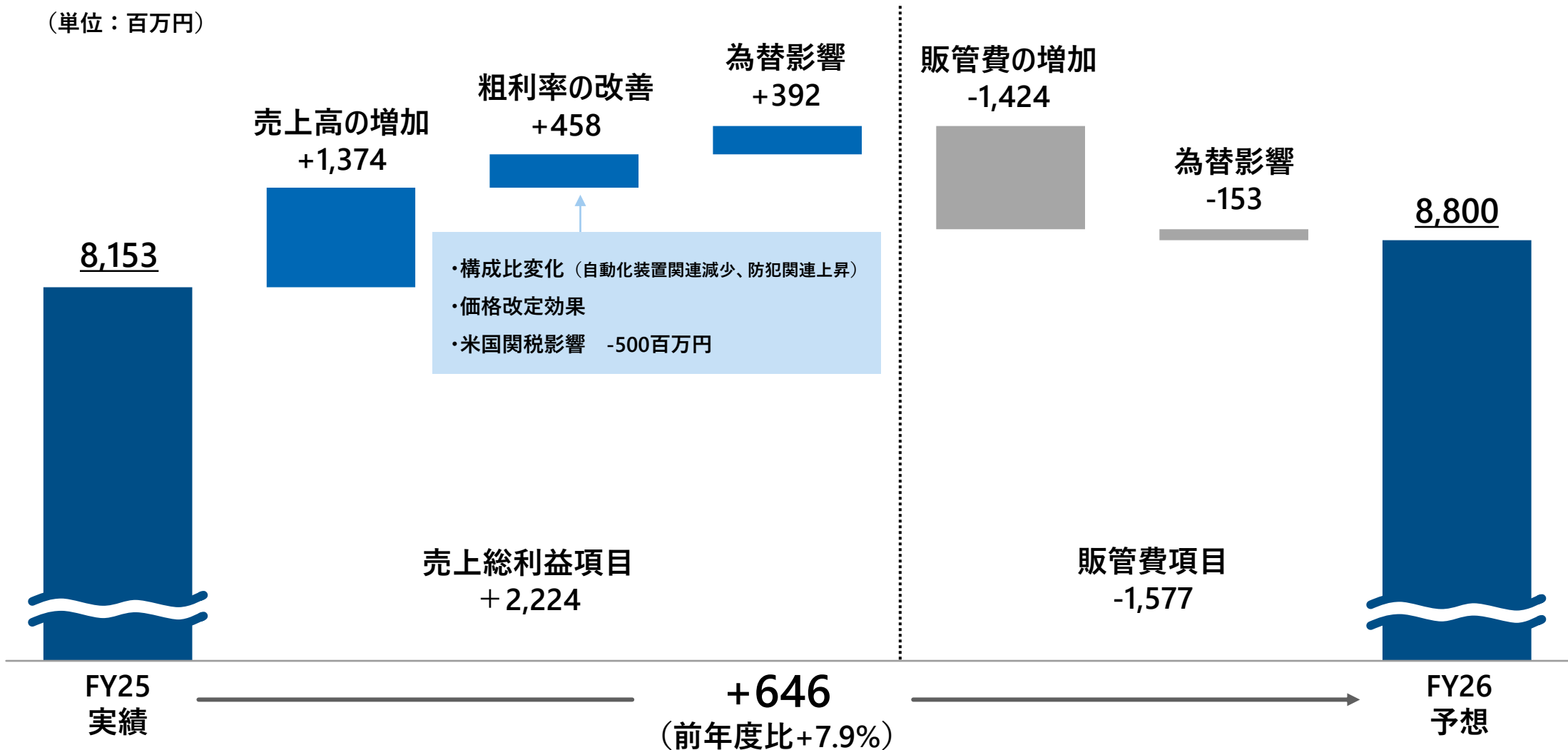
SS事業：Sensing Solution（センシングソリューション）事業  
IA事業：Industrial Automation（インダストリアルオートメーション）事業

（単位：百万円）



# 2026年12月期 連結業績予想 営業利益 増減要因（前年度比）

（単位：百万円）

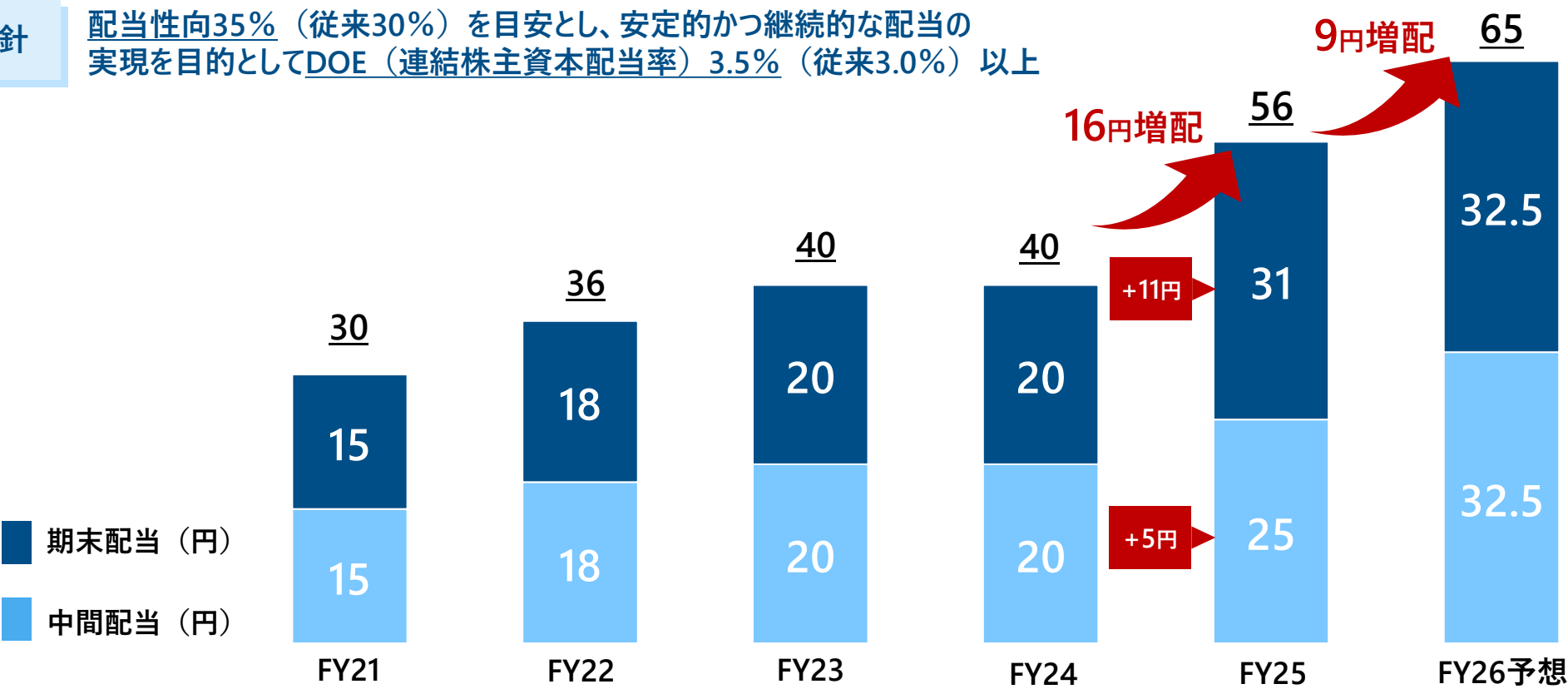


# 株主還元

FY26より、株主還元方針を強化。年間予想配当額はFY25実績から9円増配。

配当方針

配当性向35%（従来30%）を目安とし、安定的かつ継続的な配当の実現を目的としてDOE（連結株主資本配当率）3.5%（従来3.0%）以上



配当性向	28.8%	26.9%	30.8%	25.0%	30.2%	35.1%
DOE	3.2%	3.4%	3.4%	3.0%	3.8%	4.0%
ROE	11.2%	12.8%	11.1%	12.2%	12.5%	-



自己株式取得  
10億円(63万株)

1. 2025年12月期 決算概要
2. 2026年12月期 業績予想
- 3. 3カ年（FY26-28）の経営計画**

# 2030年（FY30）までの成長ビジョン

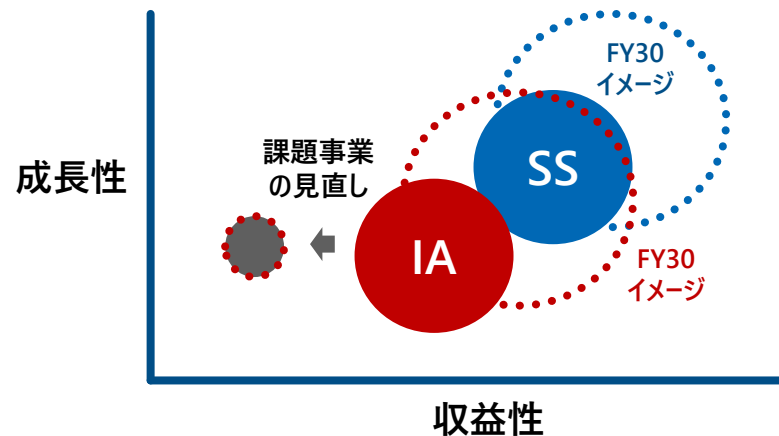
事業ポートフォリオ経営を徹底し、課題事業を果敢に見直す。  
基幹事業はソリューション提案型へ進化させ、企業価値向上につなげる。

## FY30 企業価値創出に向けた重要指標

連結売上高：1,000億円  
営業利益率：15%以上  
R O E：15%安定

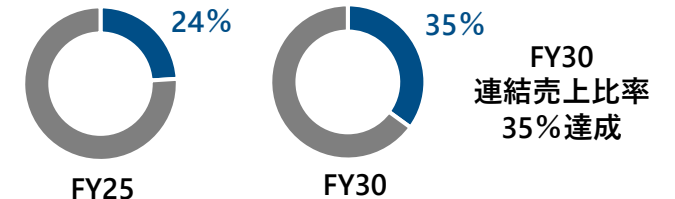
全事業に一律に投資するのではなく  
経営資源の最適配分により  
高収益・安定成長を実現する

## FY30 事業ポートフォリオイメージ



課題事業は、縮小や撤退を含め、  
聖域なく見直す

## ソリューション提案型の ビジネスモデルを拡大



### 【戦略の加速を支える土台】

グループ戦略の方向性共有

各セグメントの専門性の深化

DX

人材  
育成

技術  
共創

サステナ  
ビリティ

各事業において専門性をさらに磨き、  
スピードを武器に競争を勝ち抜く

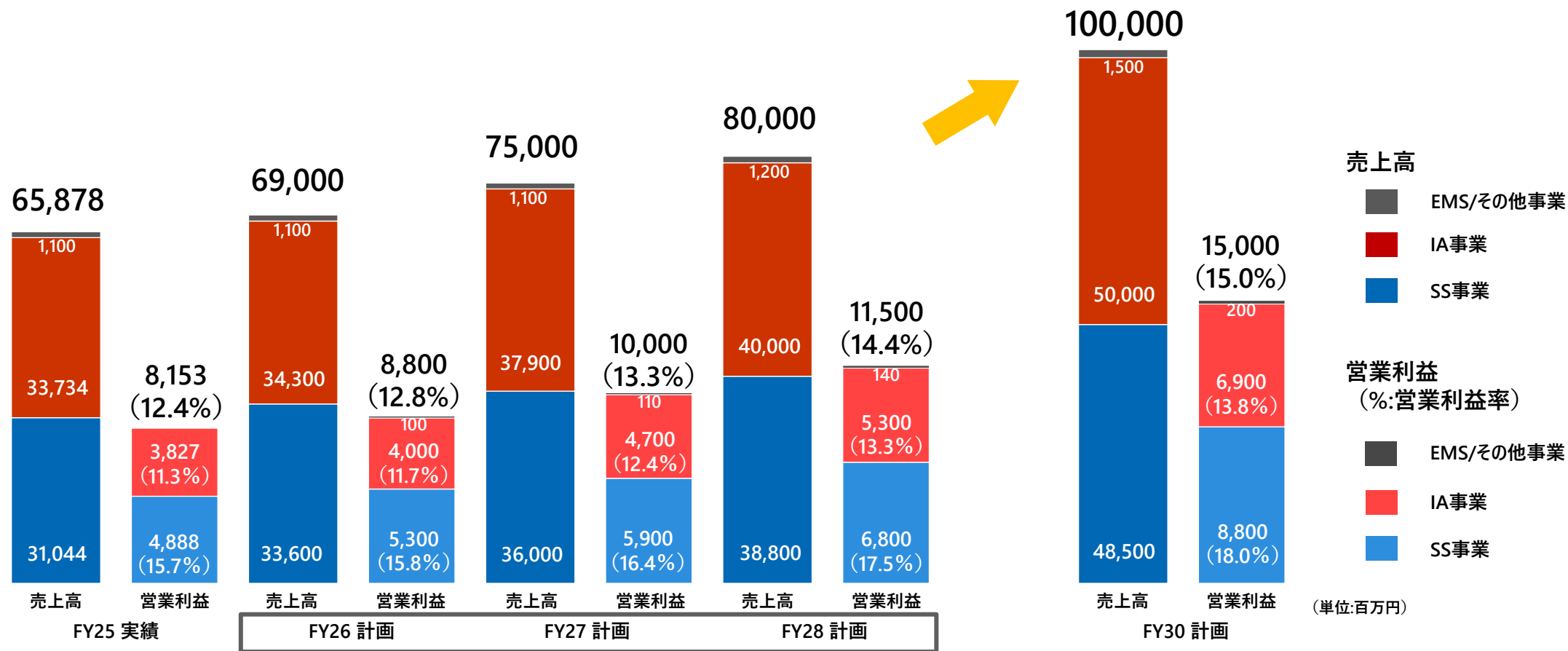


# 3カ年（FY26-28）の経営計画

当社では、市場環境の急速な変化に柔軟に対応するために、毎期改定するローリング方式で3カ年の経営計画を発表しています。

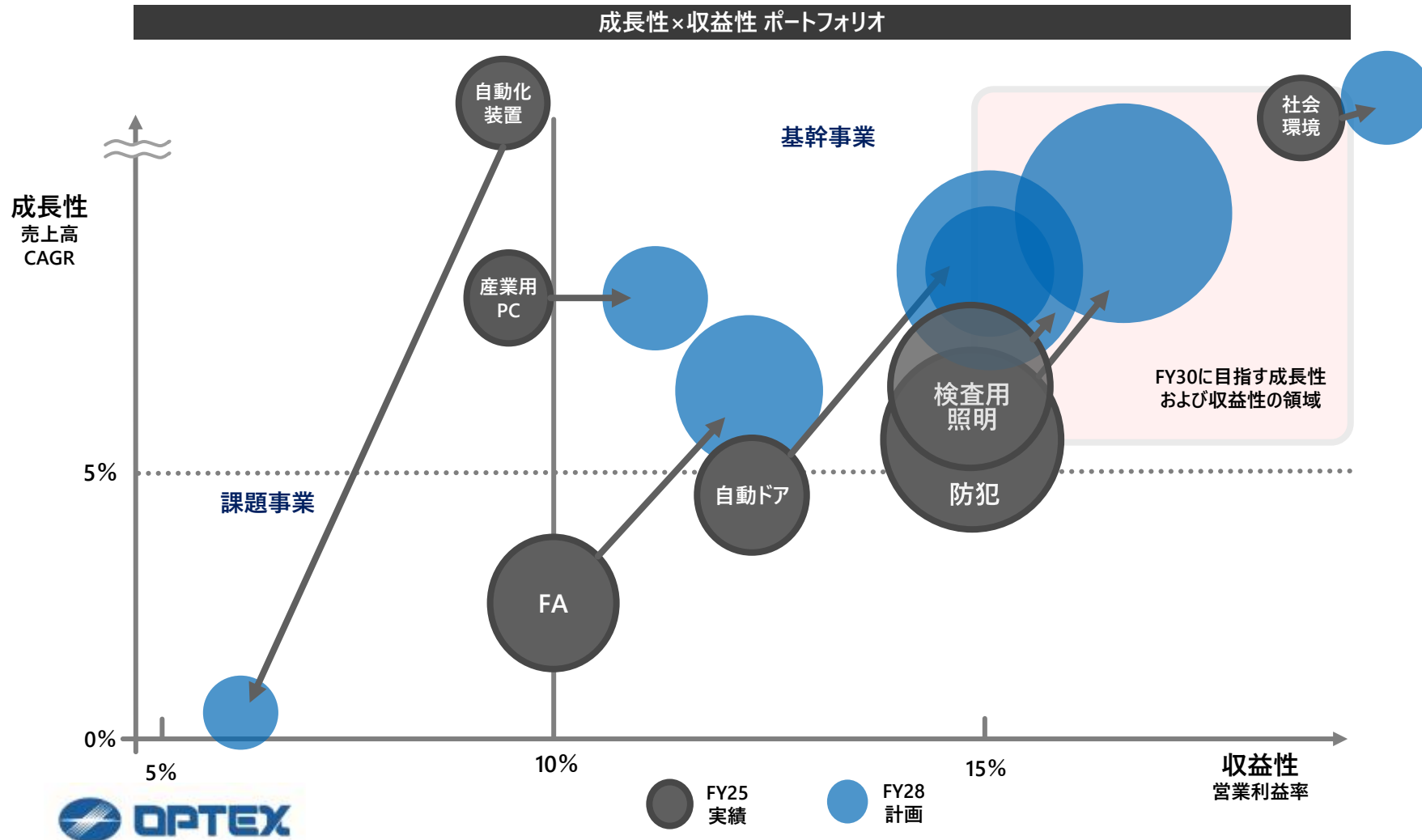
最終年度のFY28に売上高800億円・営業利益115億円を計画。

さらに営業利益率の持続的な向上によりFY30には売上高1,000億円・営業利益150億円を目指す。



# 事業ポートフォリオ経営の推進

成長性および収益性の高い基幹事業へ経営資源を最適配分し、FY28までの3年間で高収益体質を確立する。  
FY30には、営業利益率15%以上の達成を目指す。



## 重点強化テーマ

### 基幹事業

- ✓ 開発・人材・販路・生産/供給等、経営資源を重点的に配分
- ✓ ソリューション提案ビジネスを拡大
- ✓ M&A/提携で非連続成長を取り込む

### 課題事業

- ・ 成長性・収益性・戦略性の観点から評価を行う
- ・ FY28までに、縮小や撤退を含め、聖域なく見直す

注：

1. 円の大きさ = 売上規模
2. SS、FA、検査用照明：  
持株会社化以降CAGR  
FY17-25、FY20-28  
(※コロナ影響の大きいFY20は算定から除外)
3. 産業用PC／自動化装置：  
連結子会社化以降CAGR  
・産業用PC：FY21-25、FY24-28  
・自動化装置：FY22-25、FY25-28

# ソリューション提案ビジネスの目標および進捗状況

従来型  
(モノ売り視点)



ソリューション提案型  
(顧客の真の要望に  
焦点を当てる)

製品の販売  
＝  
高水準の  
仕様  
性能  
品質

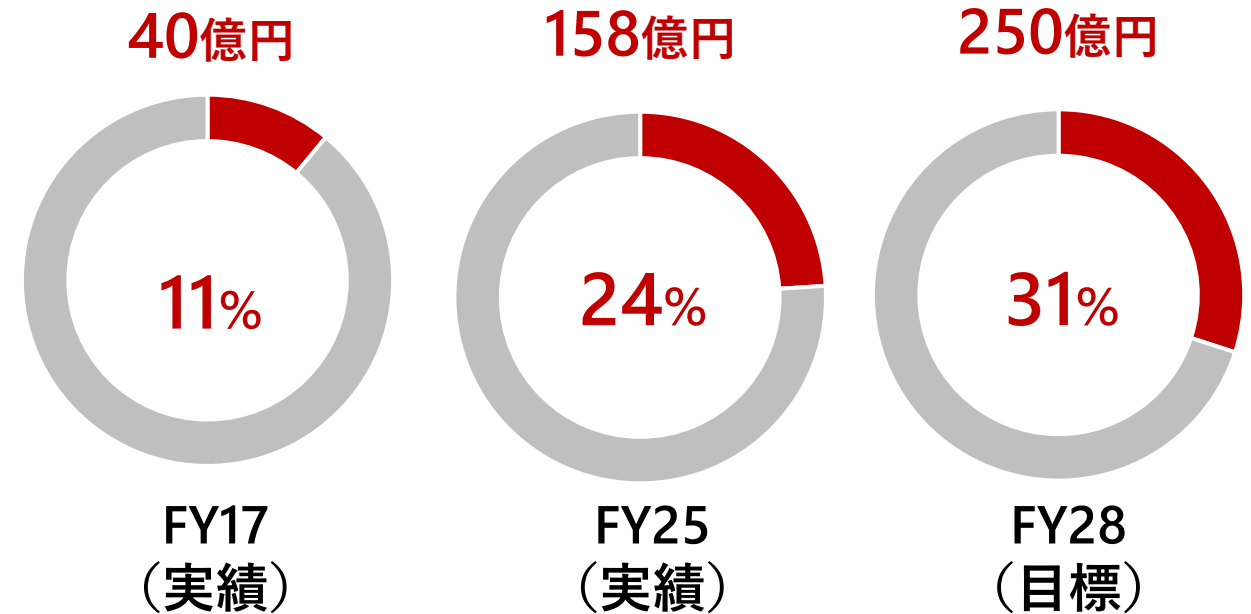
製品  
＋  
システム、セット、  
データ、サービスの提供



- ✓ 付加価値の強化
- ✓ 収益性の向上
- ✓ 継続性の向上

ソリューション提案ビジネスを加速させることで、FY28の連結売上高に占めるソリューション提案型の売上比率を31%に引き上げる。この構造転換により、FY30の連結営業利益率15%達成を目指す。

【ソリューション提案ビジネス 売上高比率推移】



SS事業：計画通り進捗

IA事業：市場回復の遅れにより進捗が緩やか

# ソリューション提案ビジネス～取組状況

防犯センサービジネスでSI機能まで含めた一気通貫ソリューションを提供

## 市場ニーズ

- ・データセンター、電力、防衛など重要インフラ施設での設備投資、更新需要が加速
- ・高精度・高信頼性の統合型防犯ソリューションを一気通貫で要求

## 当社の強み

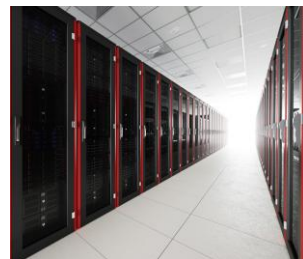
- ・幅広いセンサー技術、高信頼性かつ豊富な製品ラインナップ
- ・顧客密着型の現場対応力とダイレクトマーケティング
- ・基幹顧客との長期的な関係性、ソリューション提案力、カスタマイズ対応力、スイッチングコストによる高い参入障壁

## 取組状況

- ・大型重要施設向けに、施工品質確保のための事前支援体制を強化し、長期信頼と継続受注を実現
- ・急増するデータセンターなど重要インフラ需要に対応し、施工現場の声を反映した用途別モデルを開発・提供



電力・ガス関連施設

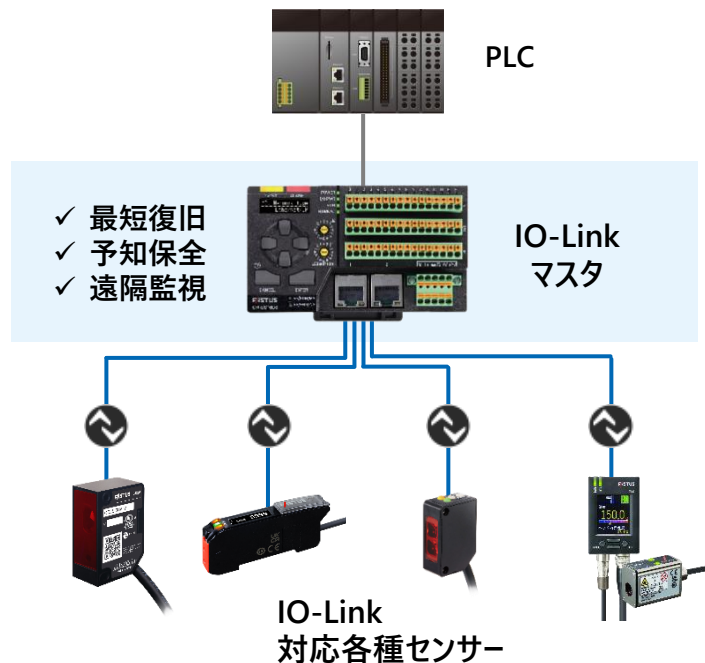


データセンター

※ SI：システムインテグレーション（System Integration）の略。防犯システムの設計・施工サポート、保守対応などを請け負う。

# ソリューション提案ビジネス～取組状況

FAセンサービジネスで双方向データ交換ができるソリューションを提供



※ IO-Link：センサーと上位の制御システムとの間で各種データ交換を双方向で行える通信技術。

## 市場ニーズ

- ・労働人口減少とAI・IT進展を背景に、長寿命・高耐久の設備と制御プログラムに対する一気通貫の要求
- ・IIoT（産業IoT）・デジタル化対応、IO-Link対応機器やセンサーの需要が拡大し、ノイズ対策やデジタル信号対応が必須

## 当社の強み

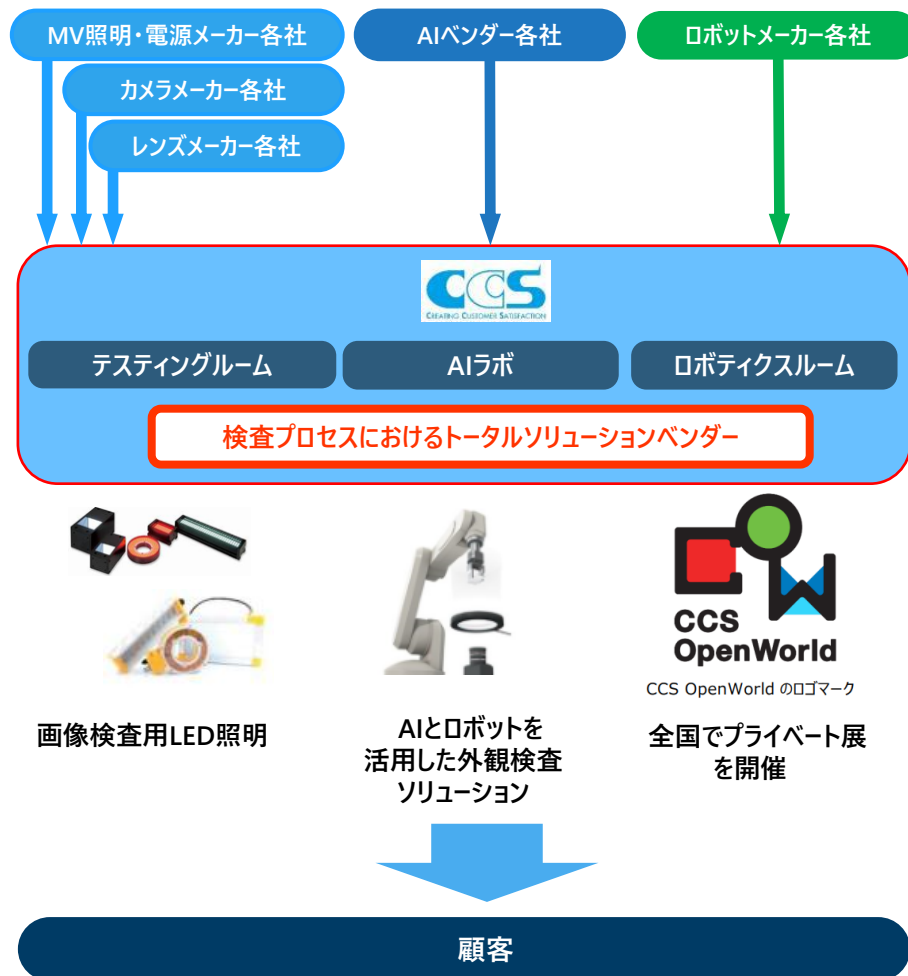
- ・光電・レーザー・画像センサなど幅広いセンサー技術と製品ラインアップによる自動化・IIoT対応力
- ・豊富なアプリケーション事例と技術サポートで現場課題に応える最適ソリューションを提供

## 取組状況

- ・IO-LinkマスタURシリーズとデバイスをつなぐ新サービス「Field Prime」を開始
- ・オムロン株式会社とIO-Link製品普及に向けた連携を開始

# ソリューション提案ビジネス～取組状況

検査用照明ビジネスで「見える！」×「出来る！」を実現するソリューションを提供



## 市場ニーズ

- ・半導体・電気・電子部品業界では、精細化・高集積化・新素材の採用などで検査工程が複雑化している。
- ・自動車業界では、ギガキャストや全固体電池などのテーマ拡大。
- ・人手不足に対応した検査プロセスの再構築も大きなテーマに。

## 当社の強み

- ・検査工程に精通した技術者・SEを、業界トップクラスの規模で抱える専門集団
- ・半導体・電気・電子部品関連顧客の高難度な課題の解決に対して、長期間（長いものは2年超）にわたって、伴走できる体制

## 取組状況

- ・ソリューション部門を設立し、より最適な提案を強化
- ・プライベート展示会「CCS OpenWorld」を全国で開催
- ・ドイツ ミュンヘンに実験室を開設し、DACH地域の強化を実現
- ・HPCシステムズ株式会社との戦略的協業を開始



# 参考資料



# 「資本コストや株価を意識した経営の実現」 に向けた当社の対応について (2026年2月更新)

# オプテックスグループの現状分析

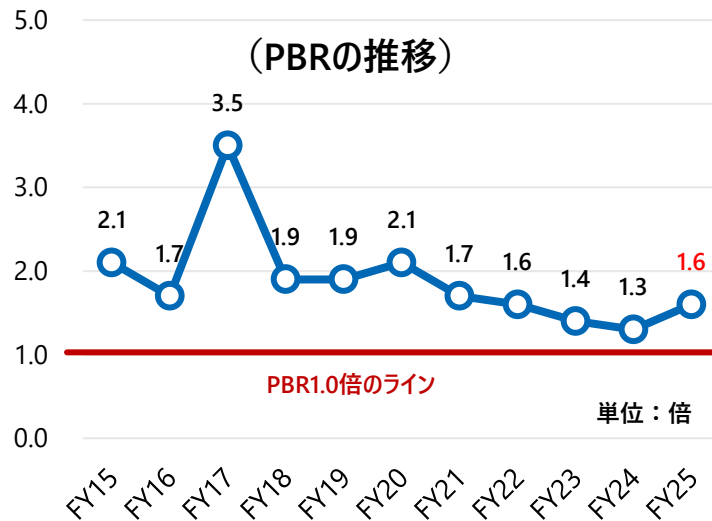
前年度比で収益性と成長期待が回復・上昇が確認できる。今後もさらなる市場評価の向上を目指す。

総合的な市場評価

**P B R**

株価純資産倍率

収益性向上を背景に、  
PBRは1.5～1.6倍水準に回復

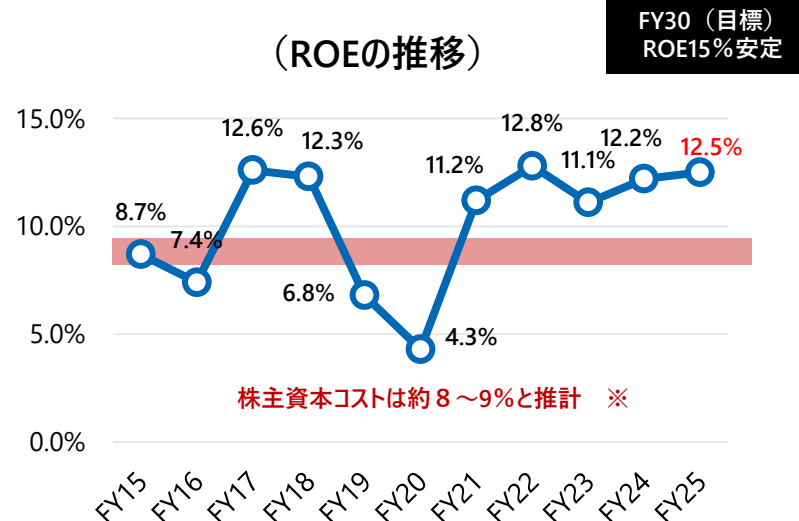


収益性と資本効率の評価

**R O E**

自己資本利益率

収益性改善により、資本コストを上回るROEを安定的に確保

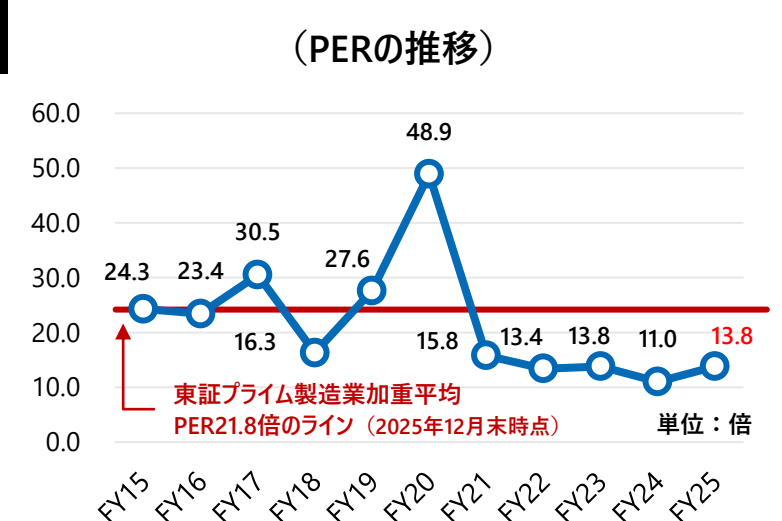


収益性と将来の成長期待の評価

**P E R**

株価収益率

将来の成長期待を反映し、  
PERは回復基調



※CAPM (資本資産価格モデル)  
アプローチを用い推計

リスクフリーレート

無リスク資産の利回り  
(10年国債利回り基準)

ベータ (β) 係数

当社株式の  
固有リスク指標

市場リスクプレミアム

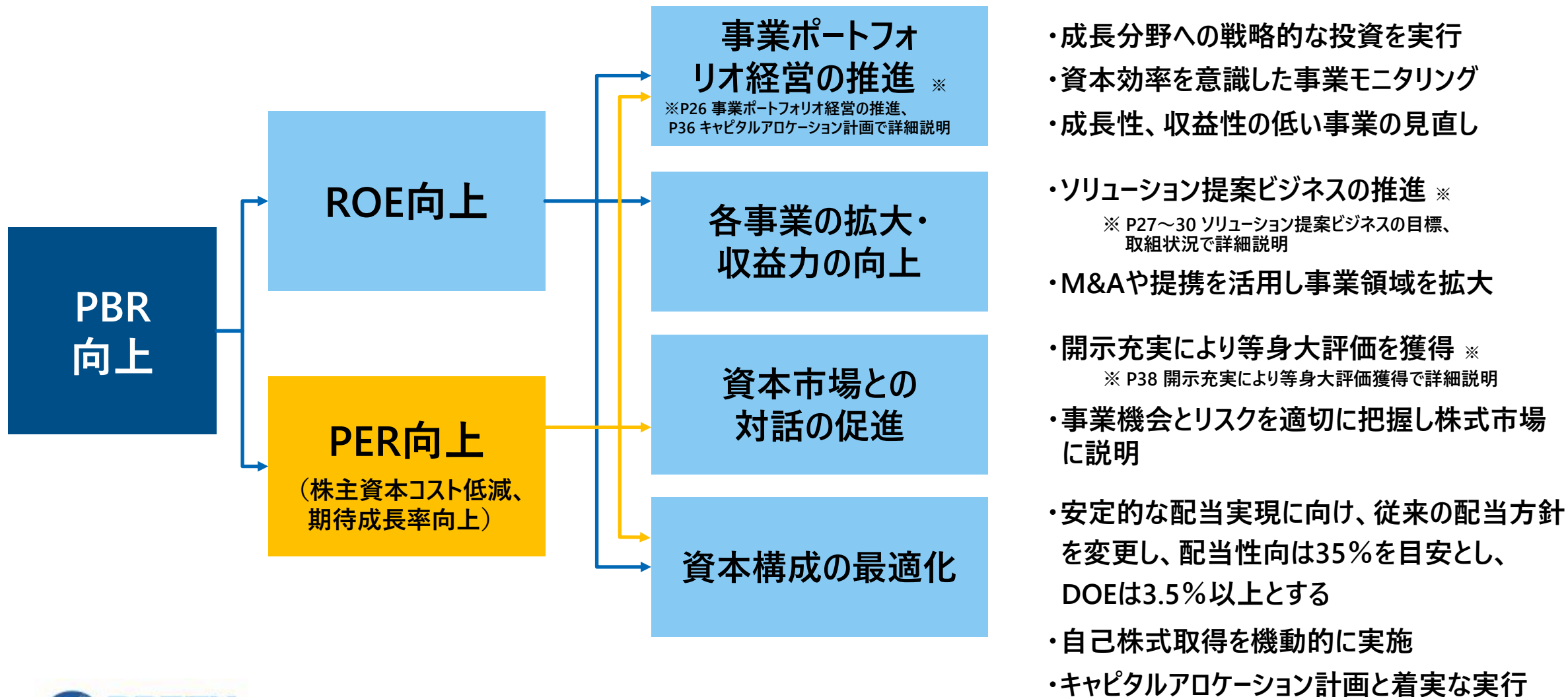
株式投資のリスク報酬

株主資本コスト

8 ～ 9 %  
(当社試算)

# 継続的な企業価値向上策

中長期的な企業価値向上に向け、引き続き収益力の向上及び成長期待の醸成に取り組む。



# キャピタルアロケーション計画

キャピタルアロケーション方針（FY26-28 3カ年経営計画）

FY28に連結営業利益115億円の達成を前提に、戦略投資の中にM&A・提携投資として約150億円を配分する。

株主還元は、FY26から配当性向35%を目安、DOE3.5%以上に変更。



# M&A方針

## 基本方針

- ・規模拡大のみを追求せず、相乗効果・成長性・収益性を重視する。
- ・専門性を深めることで長期的な企業価値の向上に資するM&Aを目指す。

## 投資方針

- ・買収資金の優先順位は、①フリーキャッシュフロー ②借入とする。（且つ、株主資本コストを意識）
- ・想定した価値創出が見通せない場合には、事業価値最大化の観点から投資を見直す。

## M&Aテーマ

専門領域拡張のため、基幹事業に関連する技術・知財・販路・人材を獲得し、ソリューションの高度化を通じて収益基盤を強化する。

# 開示充実により等身大評価を獲得

当社では、投資家との対話を通じて得た様々な意見を踏まえ、事業および業績動向をより把握しやすくするために、IR開示情報の充実と改善を進める。

事業内容が多岐に渡るため、全体を把握しにくい。

サステナビリティ情報を拡充してほしい。

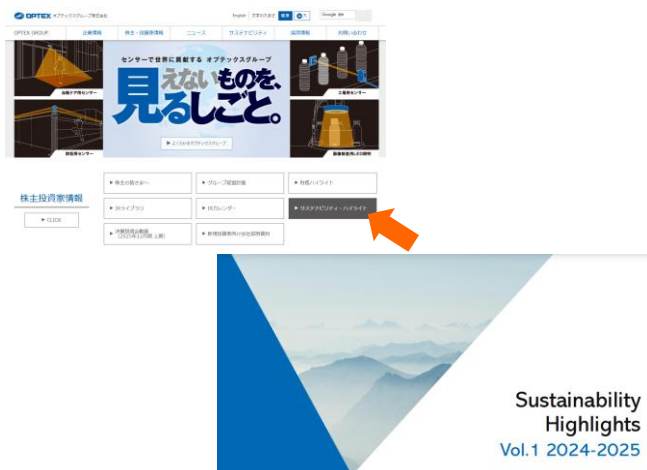
MVL、IPC、MECT...  
アルファベット表記の名称では  
事業内容が想像しにくい。

新規投資家向け会社説明資料を公開



↑ クリックでウェブサイトへ遷移する

サステナビリティ・ハイライトを公開



↑ クリックでウェブサイトへ遷移する

FY25Q1より、  
サブセグメント名称を変更

※事業区分の名称変更（FY25Q1～）

SS事業  
(センシング  
ソリューション)

防犯関連

自動ドア関連

社会・環境関連

IA事業  
(インダストリアル  
オートメーション)

FA関連

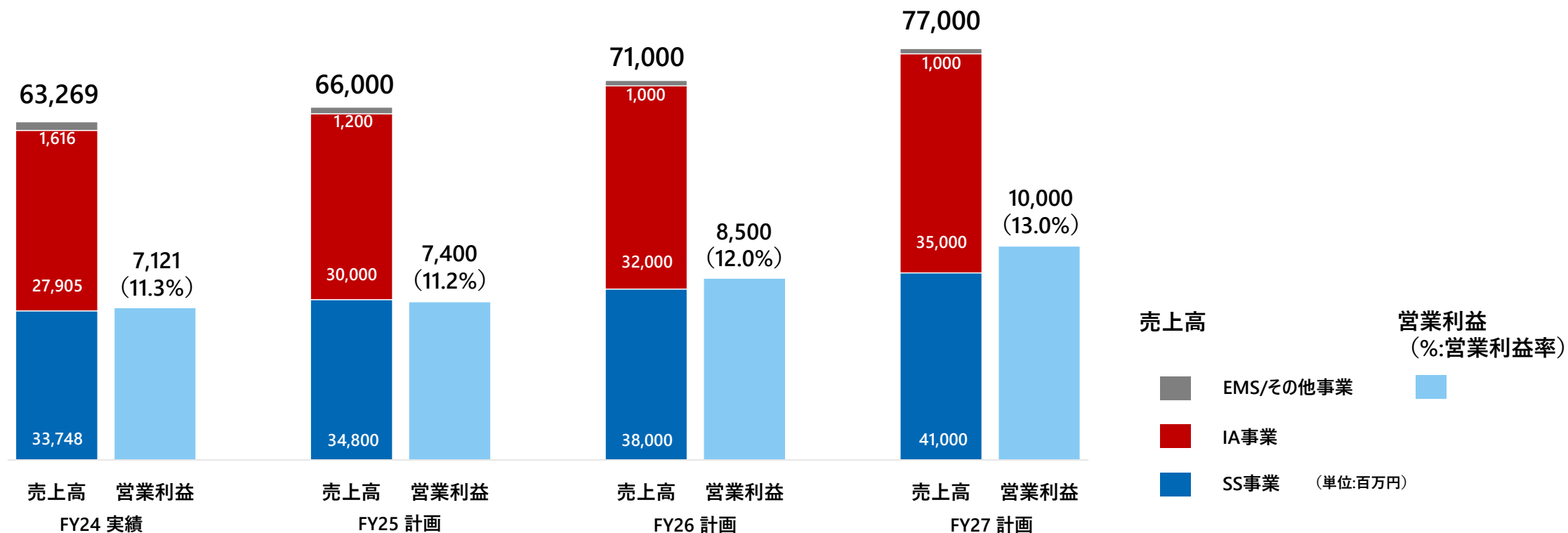
検査用照明関連 (旧 MVL関連)

産業用PC関連 (旧 IPC関連)

自動化装置関連 (旧 MECT関連)

## 【ご参考】3カ年（FY25-27）の経営計画（2025年2月14日時点）

当社では、市場環境の急速な変化に柔軟に対応するために、每期改定するローリング方式で3カ年の経営計画を発表しています。







# 会社概要

## 会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798百万円
売上高	65,878百万円
営業利益	8,153百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所プライム上場 6914
連結従業員数	2,162名（派遣・パート・アルバイト除く）

※2025年12月末時点

### ■ 会社名の由来

オプテックスグループ

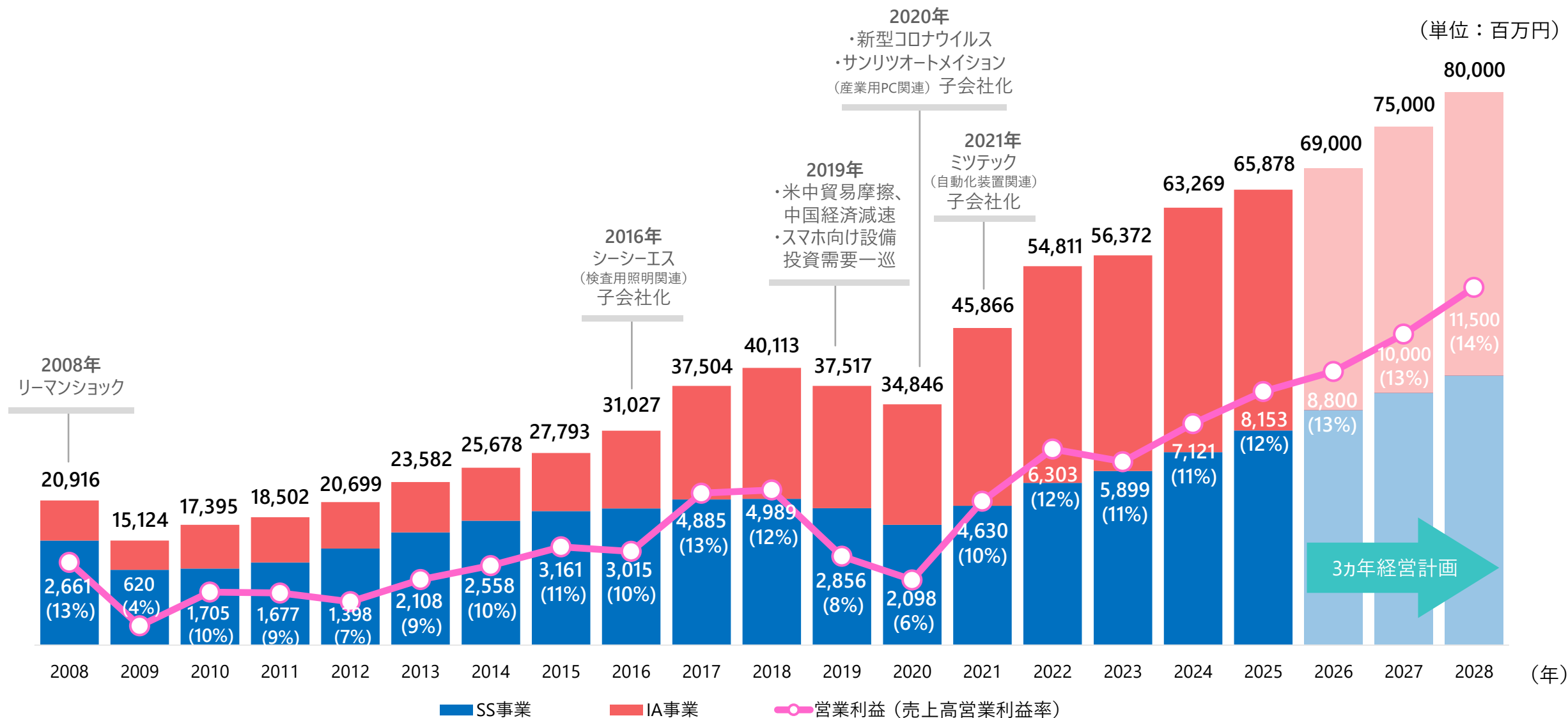
**OPTEX**

OPtical TEchnology  
光学技術

X  
未知、未来 (=ギリシャ語)



# 会社概要 — 業績推移



## 会社概要 – 体制図

### オプテックスグループ 株式会社

(東証プライム上場 証券コード：6914)

持株会社

#### オプテックス株式会社

防犯用・自動ドア用等各種センサーの開発・製造・販売

SS事業

#### オプテックス・エフエー株式会社

ファクトリーオートメーション用センサーの開発・製造・販売

IA事業

#### シーシーエス株式会社

画像検査用照明の開発・製造・販売

IA事業

#### サンリツオートメーション株式会社

産業用コンピュータの開発・製造・販売

IA事業

#### ミツテック株式会社

自動化装置および画像処理検査装置の開発・製造・販売

IA事業

#### オプテックス・エムエフジー株式会社

グループ製品の製造・電子機器の受託生産

EMS事業

#### オーパルオプテックス株式会社

アウトドアアクティビティおよび環境体験学習の運営

その他事業

## 会社概要 — 事業構成

オプテックスグループはグローバルニッチNo.1を目指す企業集団です

### IA（インダストリアルオートメーション）事業

#### 自動化装置関連

自動車向けの二次電池製造装置を提供



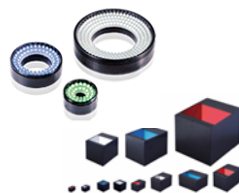
#### 産業用PC関連

半導体製造装置向けの組込ボードや  
空港向けの追尾用カメラを提供



#### 検査用照明関連

工場の検査工程で検査の品質向上に  
役立つ照明を提供



#### FA関連

工場の生産工程で自動化・省人化に  
役立つセンサーを提供



### SS（センシングソリューション）事業

#### 防犯関連

住宅、事業所、大型重要施設向けの  
防犯センサーを提供



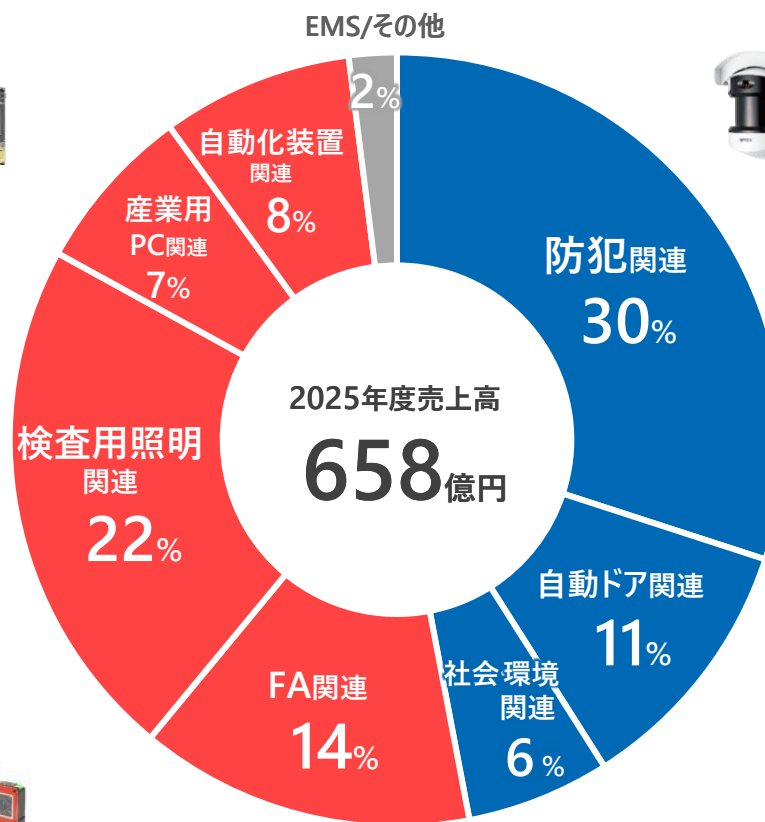
#### 自動ドア関連

自動ドア用センサー、工場や倉庫の  
シャッター用センサーを提供

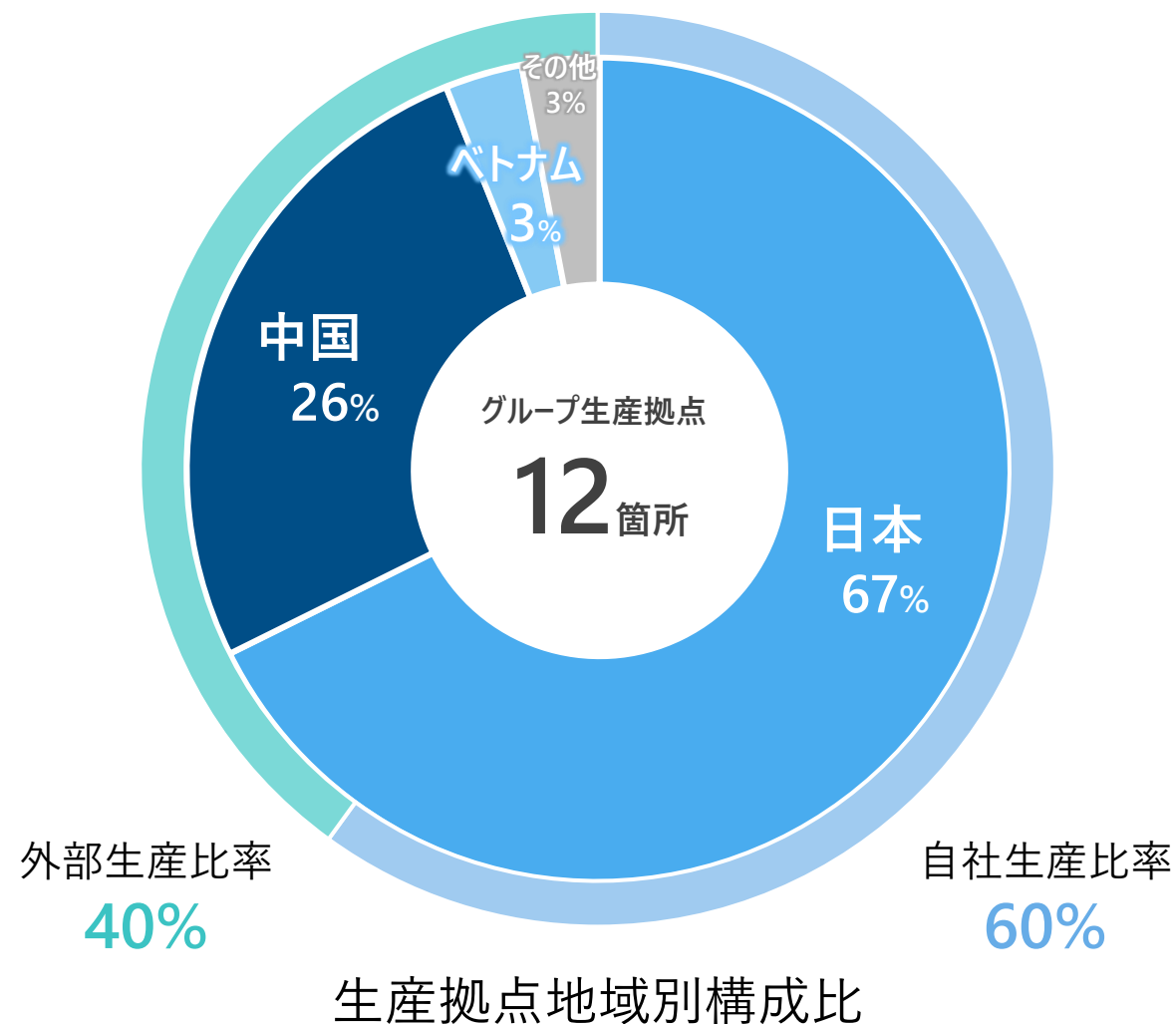
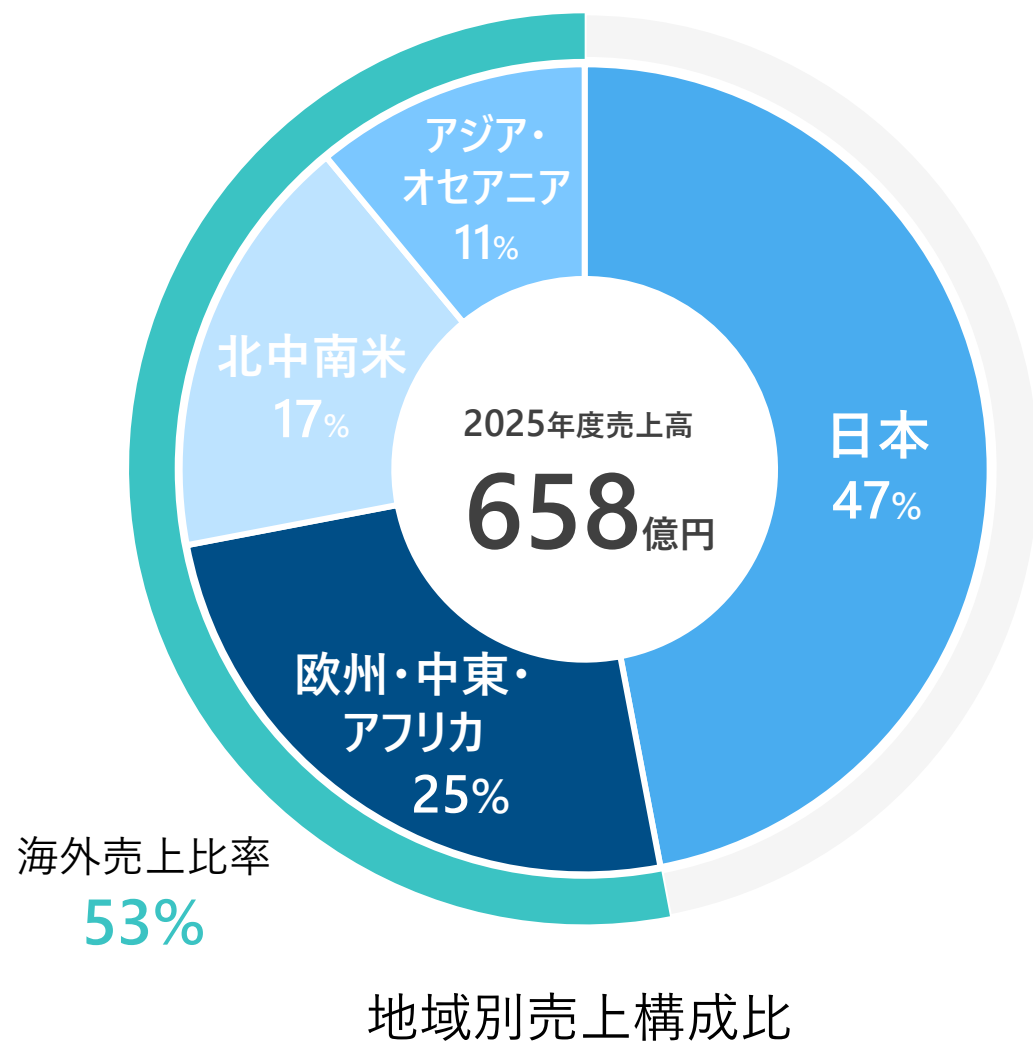


#### 社会・環境関連

駐車場向けの車両検知センサーや  
上水・下水向けの水質計測センサーを提供

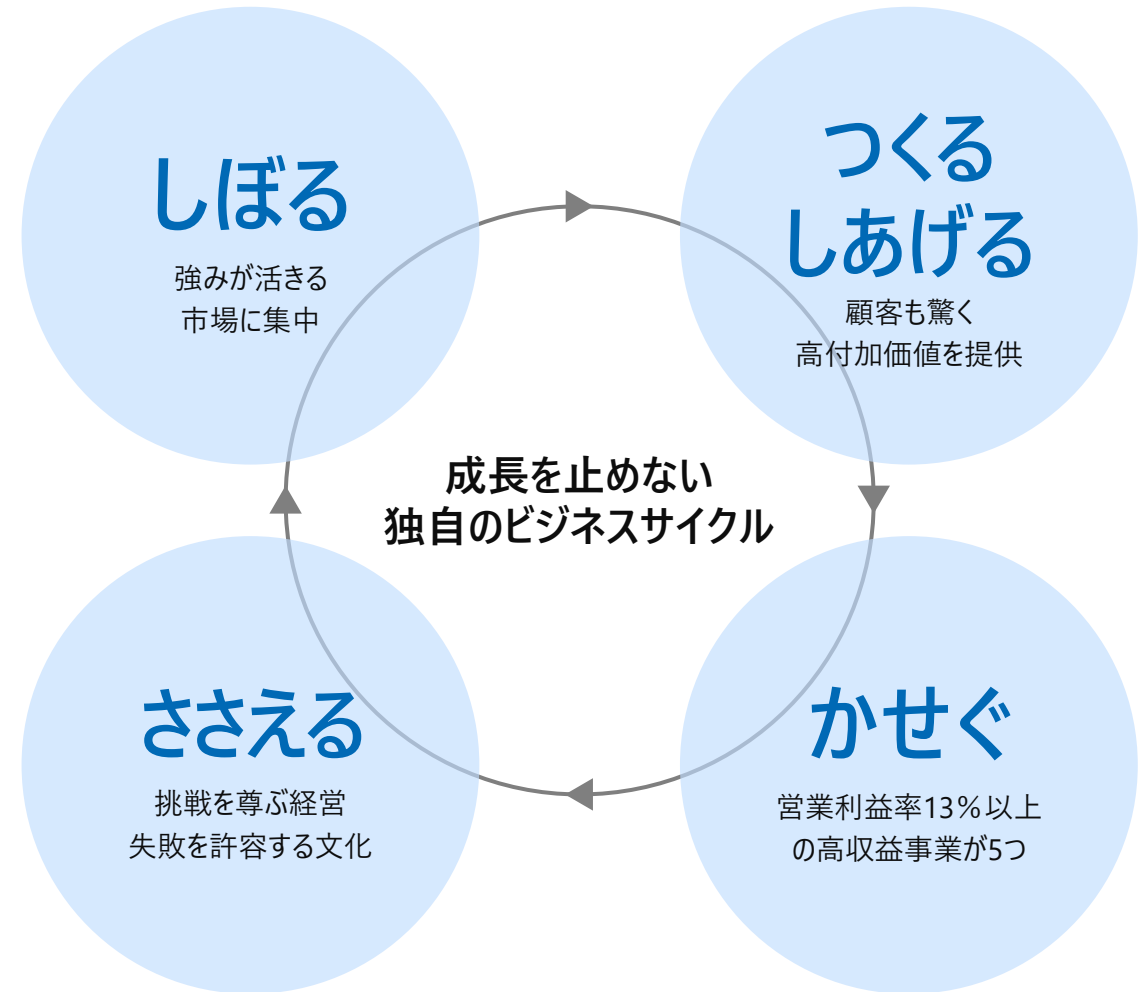


## 会社概要 — 地域別構成、生産拠点地域別構成



# グローバルニッチNo.1 実現のビジネスサイクル

私たちは世界で唯一の価値を提供し続け、顧客や社会から信頼される企業を目指しています。規模より価値を重視し、強みを活かせる分野に集中して付加価値を持続的に提供することで、収益性と社会価値の両立を実現します。挑戦を尊び、失敗から学ぶ文化を基盤に、グローバルニッチNo.1を追求していきます。



## 会社概要 – オプテックスグループの強み

グローバルニッチ市場でトップシェアを誇る製品群を展開



### 屋外用侵入検知センサー

(SS事業 防犯関連)

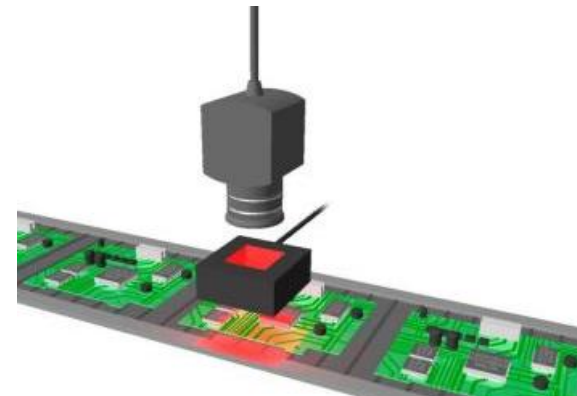
グローバルシェア  
**40%**



### 自動ドアセンサー

(SS事業 自動ドア関連)

グローバルシェア  
**30%**



### 検査用LED照明

(IA事業 検査用照明関連)

グローバルシェア  
**30%**



## 事業概要 — SS事業 防犯関連

### 屋外用侵入検知センサー グローバルシェア40%



#### レジデンシャル（住宅）向け



高級住宅（海外）

#### コマーシャル（事業所・倉庫等）向け



事業所

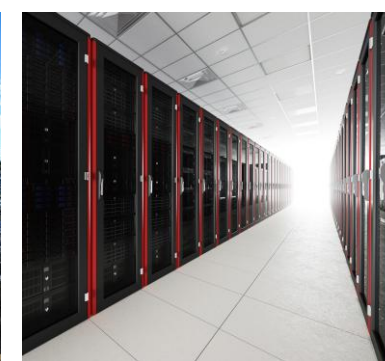


倉庫

#### ハイセキュリティ（大型重要施設）向け



発電所・石油インフラ施設



データセンター

## 事業概要 – SS事業 自動ドア関連

### 自動ドアセンサー グローバルシェア30%

1980年 世界初 遠赤外線式自動ドア用センサーを開発



マットスイッチ（床）



自動ドア用センサー1号機



空調エネルギーロスを減らし、CO2削減に貢献



無駄開きを抑止し、冷気や暖気の漏れを防ぐ

ショッピングセンター



コンビニエンスストア



病院



工場、倉庫用シャッター



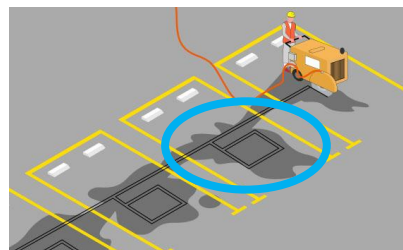


## 事業概要 – SS事業 社会・環境関連

### 車両検知センサー：環境負荷の少ない車両検知センサーで、駐車場や交通インフラの快適性を実現

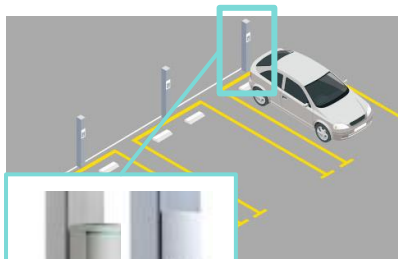
#### ■ 駐車場の在車管理

ループコイル



地面をカットして埋設  
再使用不可

ポール設置型  
車両検知センサー



施工・メンテナンスが容易  
移設・再使用可能

#### ■ ゲート開閉

住宅、事業所等向け ゲート自動開閉用途



埋設工事不要で  
施工・メンテナンスが容易



商業施設、公共施設



コインパーキング



### 水質計測センサー：水質測定からデータ管理まで自動化し、水質監視と予防保全の効率化を実現



センサー



ゲートウェイ



データマネージメント  
サービス

浄水場、工場



養殖場



## 事業概要 – IA事業 FA関連

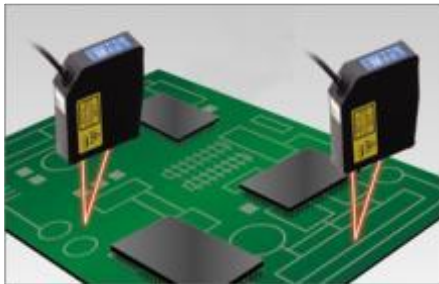
工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

半導体、電気・電子部品業界向け

### 変位センサー



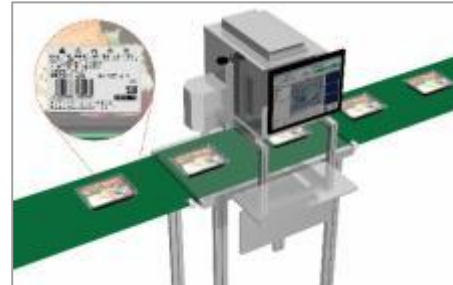
スマートフォンのフレームの高さ測定



基板の傾き、ソリ測定

三品業界向け（食品、医薬品、化粧品）

### 画像センサー



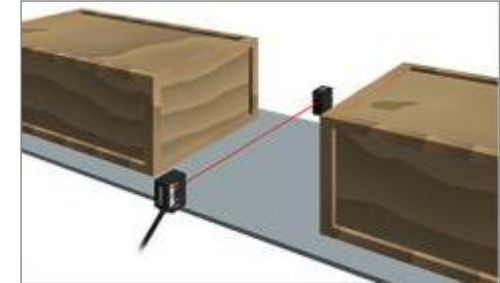
弁当・惣菜の食品表示ラベル検査



牛乳の賞味期限印字検査

物流業界向け

### 光電センサー



段ボールや木箱の通過検出



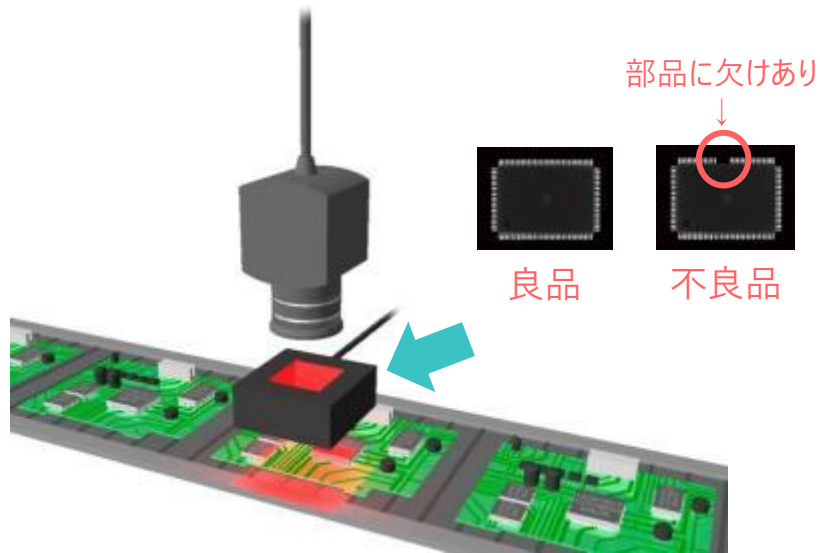
自動倉庫ではみ出し検出

## 事業概要 – IA事業 検査用照明関連

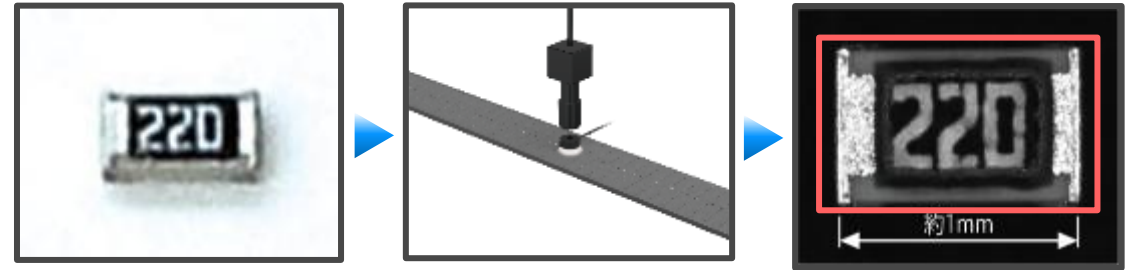
### 検査用LED照明 グローバルシェア30%

#### 検査用照明

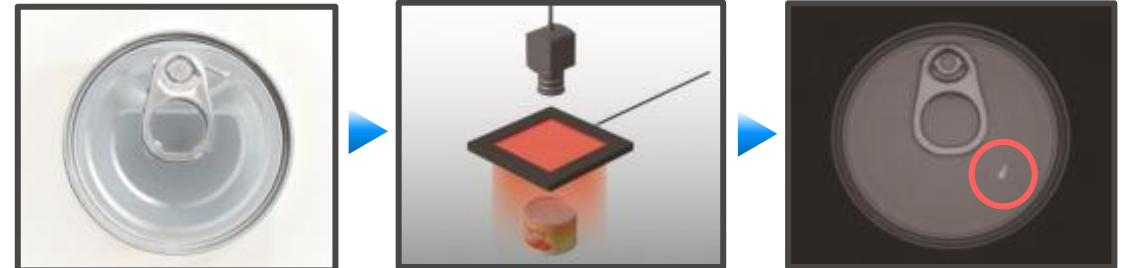
工場で何かを生産する場合は、各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



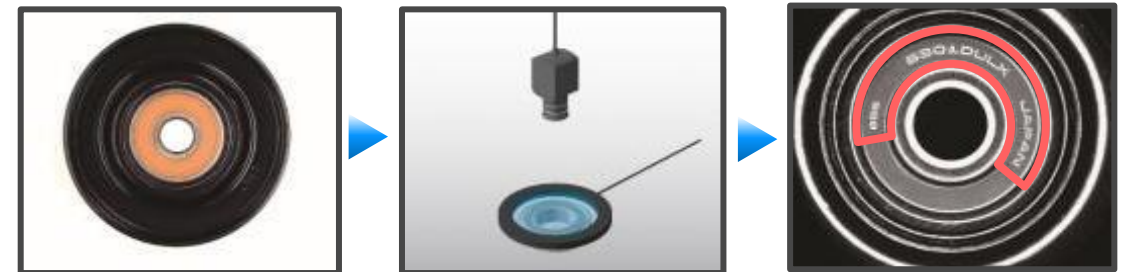
プリント基板の実装部品欠陥検査



小型チップ部品の文字・形状観察撮像



缶詰表面の汚れ撮像



ベアリングの刻印文字撮像

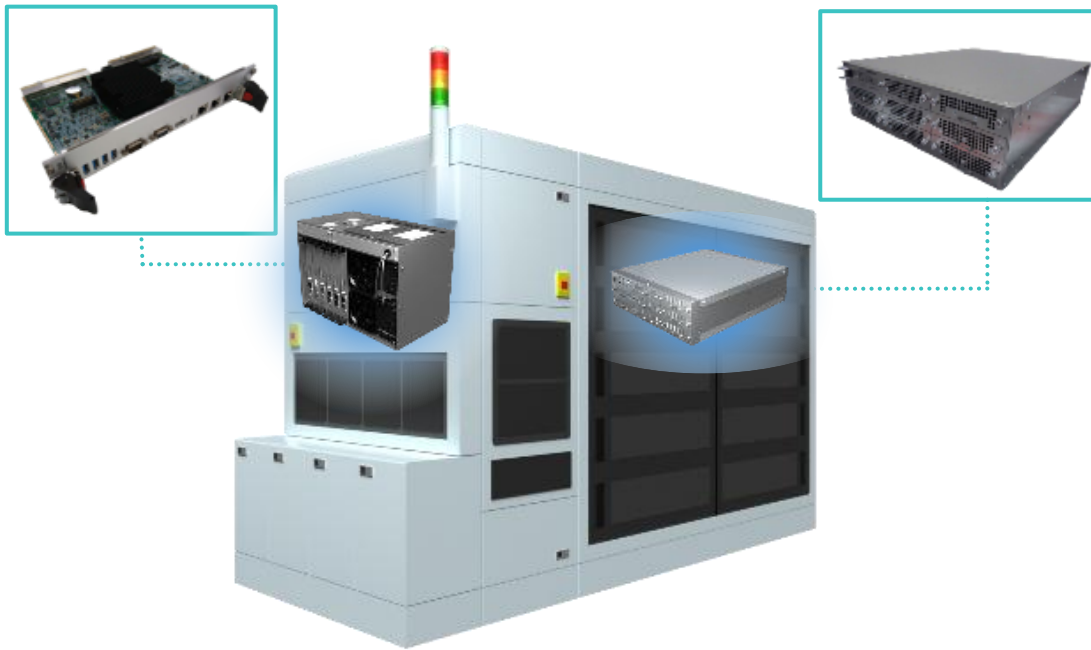


## 事業概要 – IA事業 産業用PC関連

半導体製造装置向けの組込ボードや空港向けの追尾用カメラを提供

### 産業用組込みボード

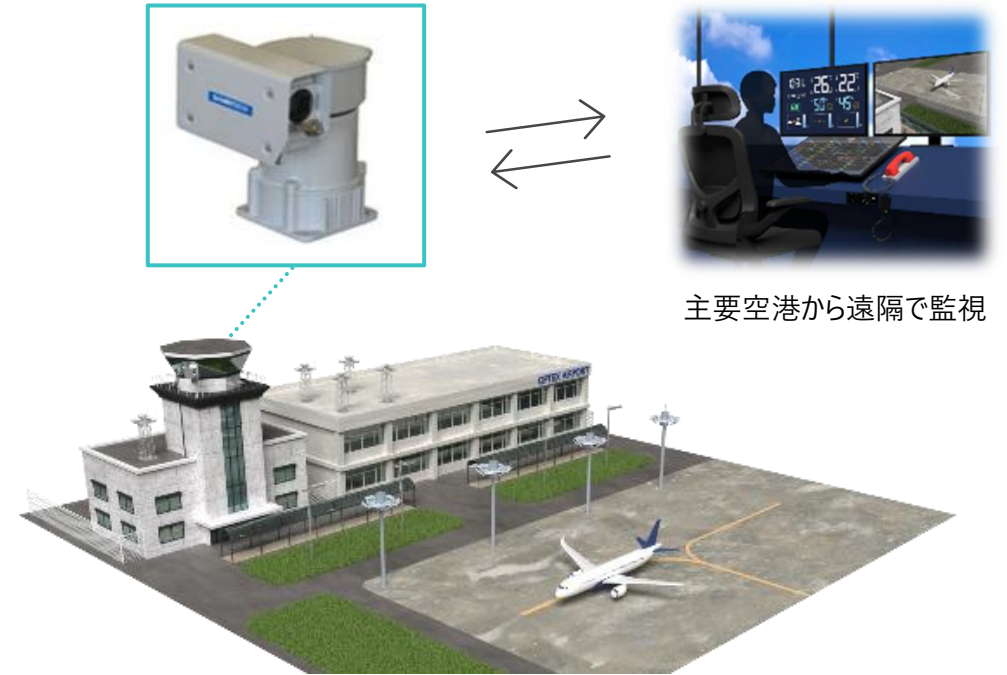
半導体製造装置や医療・通信などの生産性向上に  
貢献するコンピュータ・プラットフォームを提供



半導体製造装置のイメージ

### 生産・社会インフラシステム

自動追尾用カメラ等のシステムを提供し、  
空港等、社会インフラの課題解決に貢献



主要空港から遠隔で監視

地方空港のイメージ

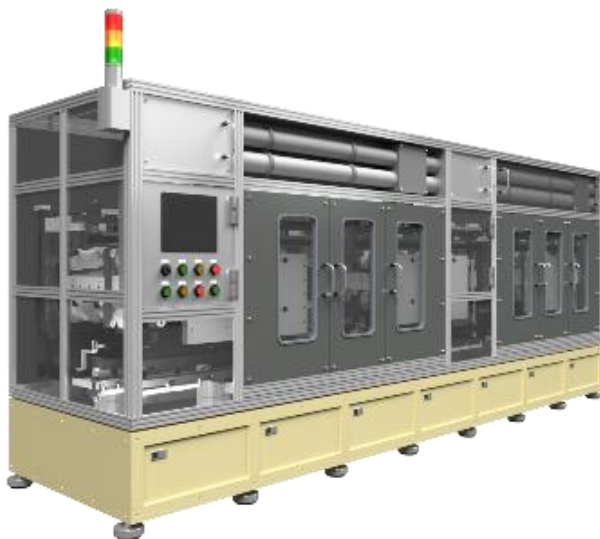
## 事業概要 – IA事業 自動化装置関連

自動化装置や画像処理検査・計測装置を提供

### 自動化装置

高度なメカトロ技術を保有

- ✓ 高速・高精度充填技術
- ✓ 高速搬送技術 等



二次電池製造装置等の自動化装置の開発

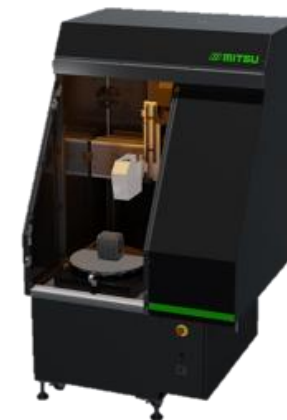
### 画像処理検査／計測装置

モノを動かす  
「Motion技術」

×

モノを見る  
「Vision技術」

お客様の課題に合わせてカメラ、LED照明、各種測定機等を組み合わせた画像処理検査システムを構築



## サステナビリティ

当社はサステナビリティ基本方針の元、ESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。  
詳細は「サステナビリティ・ハイライト」をご覧ください（[レポートはこちら](#)）。

### Environmental (環境)

#### 環境課題への取り組み

##### 【TCFD提言への賛同】

「2030年までに2019年度比CO2排出量を30%以上削減する」という中長期目標を設定し、気候変動対応プロジェクトを中心にTCFDの枠組みに沿った対応を推進

##### 【製品・ソリューションでCO2削減に貢献】

環境配慮型の製品・ソリューションの普及拡大に取り組む

自動ドア用センサー



無駄な開閉を防止することにより空調効率を改善

画像検査用LED照明



明るさを自動管理するフィードバック制御により省エネを実現



### Social (社会)

#### 社会課題への取り組み

「自己実現No.1」の会社を目指し、社員の成長のサポートや能力発揮のための人材育成と職場環境の整備を推進。



健康意識の向上や生活習慣の改善、メンタルヘルス対策の強化の取り組みにより、優良な健康経営に取り組む企業として、オプテックス(株)、オプテックス・エフイー(株)の2社が「健康経営優良法人」に認定。

### Governance (ガバナンス)

#### 企業統治への取り組み

当社の取締役会は、企業経営・経営管理、技術開発、生産、営業販売、海外での勤務経験、会計の専門性等をそれぞれ有効に活用する取締役5名（男性4名、女性1名）と、豊富な監査経験、税理士、公認会計士、弁護士の資格を有する等、高い見識と知見を有する監査等委員である取締役3名（男性2名、女性1名）で構成されています。

(2025年3月28日現在)



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現。



<https://www.optexgroup.co.jp/>